特定非営利活動法人

トリトン・アーツ・ネットワーク

2009年度　事業報告書

2010年7月

ご　挨　拶

皆さまのご支援のお陰でトリトン・アーツ・ネットワーク（TAN）は 2001 年創設以来、芸術文化サービス NPO 法人として、音楽を「広める」「創る」「育てる」の 3 つのミッションに基づき活動をしてまいりました。音楽で地域をつなぐ TAN は「広める」として音楽をあらゆる年代、あらゆる層に広めること、「創る」として創意工夫した音楽プログラムを創り提供すること、「育てる」として若手演奏家、アートマネジメント、文化ボランティア人材を育てることを実施してきました。

2009 年度は、社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナアワード 2009」において、最高賞である「メセナ大賞」を TAN の活動にご支援いただいている第一生命保険が「第一生命ホールを拠点とした NPO トリトン・アーツ・ネットワークの音楽活動への支援」として認められ、受賞いたしました。受賞理由は、民間ホールでは例の無かった NPO 法人を設立し、創意工夫あるコンサート企画や地域での音楽活動を展開してきた結果、地域に根ざした音楽活動を着実に拡げてきた点を総合的に評価されたものです。まさに創設以来の地道な活動が評価され望外の喜びに浸りました。本受賞はこれもひとえにこれまで皆さまにご尽力いただいた賜物と深く感謝申し上げるとともに厚く御礼申し上げます。

さて TAN の 2009 年 4 月から 2010 年 3 月までの 1 年間の活動記録を本事業報告書にまとめましたので、ご高覧いただけたら幸いです。またこの機会に皆さまからも TAN の活動に対して忌憚のないご意見、ご助言をいただければ大変ありがたく存じます。

最後になりましたが、TAN の活動を支えていただいている「法人会員」と「個人会員」「協賛会社・団体」の皆さま、「演奏家」の皆さまおよび「サポーター」の皆さまには、暖かいご支援、ご協力を賜り、改めて感謝申し上げます。

来年 11 月の TAN10 周年に向けて、これからも地域に根ざした活動を継続し、あらゆる年代、あらゆる層の多くの皆さまに楽しんでいただける音楽を提供していきたいと存じます。今後も引続き皆さまのご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお私事ですが、6 月 24 日の総会をもちまして創設以来の理事長を退任いたしました。9 年間の皆さまからのご支援とご厚情を賜りましたことに御礼申し上げます。なお後任の理事長には長浜力雄が就任いたしました。引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2010 年 6 月

特定非営利活動法人　トリトン・アーツ・ネットワーク

理事長　加茂文治

目　次

Ⅰ．ディレクターご挨拶　・・・　４ページ

Ⅱ．法人会員・協賛企業からのメッセージ　・・・　５ページ

Ⅲ．2009 年度の事業の成果
1. 全体の総括　・・・　７ページ
2. 自主企画公演事業　・・・　９ページ
(1) ライフサイクルコンサート
(2) クァルテット・ウィークエンド
(3) 特別コンサート
(4) 共催公演
3. コミュニティ事業　・・・２８ページ
(1) アウトリーチ
(2) ハロー！コンサート
(3) レクチャーコンサート
(4) 晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート
(5) 弦楽器体験ワークショップ
(6) その他
4. 文化ボランティア拠点づくり事業　・・・３２ページ
5. 評価事業　・・・３４ページ

Ⅳ．事業実施に関する事項
1. 運営に関する事項　・・・３５ページ
2. 活動に関する事項　・・・３６ページ

Ⅴ．運営に関する事項　・・・４０ページ

Ⅵ．コンサート・アウトリーチの紹介
1. 自主企画公演　・・・４２ページ
2. アウトリーチプログラム　・・・４７ページ

Ⅶ．取材記録・掲載された主な記事　・・・５０ページ

Ⅷ．トリトン・アーツ・ネットワークからの情報発信　・・・５２ページ

Ⅸ．収支報告　・・・５３ページ

Ⅹ．個人会員・法人会員・協賛金・助成金・認定　・・・５４ページ

Ⅺ．理事・職員・評価委員　・・・５７ページ

Ⅻ．特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク定款　・・・５８ページ

Ⅰ．ディレクターご挨拶

2009年度のトリトン･アーツ･ネットワーク（TAN）の事業報告書をお届けします。

法人会員、個人会員、協賛企業、サポーター、そして演奏家、関わってくださった全ての皆さまのおかげで、2009年度も音楽を「広める」「創る」「育てる」に基づいた、充実した活動を実施することができました。ご支援、ご協力に、心より感謝申し上げます。

2009年度のハイライトは、なんといっても第一生命保険相互会社（4月より第一生命保険株式会社）が、TANの活動に対して「メセナ大賞」を受賞されたことでしょう。2001年のTAN創設以来関わってくださったすべての関係者の皆さまと共に、この受賞の喜びを分かち合いたいと思います。

従来の民間ホールには珍しいNPOという形態でのホール主催公演の実施、そしてホール周辺地域でのコミュニティ活動、サポーターとの協働、評価委員による外部評価など、試行錯誤しながら進んできたことを、このように評価していただいたことは、私たちのこの上ない励みであり、改めて大きな勇気をいただきました。これからもしっかりとミッションを軸に、音楽の喜びを皆さまと分かち合うべく努力して前進していきたいと思います。

第一生命ホールのある中央区は、特に小さなお子さまを持つファミリー層の人口が急増している地域です。ここでは、未来を担う子どもたちに向けた活動を積極的に展開していく必要があると感じています。2010年度からは、お子さま向けのライフサイクルコンサートも段階を更に細かく分けて楽しんでいただけるような企画を創っていくつもりです。

ホールに来られない方のもとへ音楽をお届けするアウトリーチでは、どれほど人が音楽を必要としているか、音楽により人を勇気づけることができるのかと、こちらがはっとさせられることが多く、音楽を自由に享受できる今の自分たちが、いかに恵まれた環境にあるかに気づかされます。このような活動は、皆さまのご支援なくては成り立たないものです。

TAN として、皆さまと一緒に、このような充実した仕事をさせていただけることを本当にありがたく幸せに思います。

音楽を「広める」「創る」「育てる」という使命を抱いて、より多くの方々と音楽の喜びを分かち合う。そのための努力をこれからも重ねていきたいと思います。

今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。皆さまに心からの感謝の気持ちを込めて。

田中玲子

Ⅱ．法人会員・協賛企業からのメッセージ

住友商事株式会社

住友商事グループは経営理念に、健全な事業活動を通じての「豊かさと夢の実現」を目指し、行動指針のひとつに「良き企業市民として社会に貢献する」ことを掲げ、社会貢献活動や文化支援活動を推進しております。

弊社は、2001年設立当初からトリトン・アーツ・ネットワークの事業活動に協賛させて頂いております。トリトン・アーツ・ネットワークは、第一生命ホールを舞台として、身近に音楽を楽しむ機会を提供する『ホール事業』、継続的に取り組んでおられるアウトリーチ・レクチャーコンサート等の『コミュニティ活動』、さらにはサポーターとの共同企画である『文化ボランティア拠点作り事業』などを通じ、地域コミュニティやサポーターとの関係作りを通じた様々な活動を積極的に行っておられます。

そのような活動の中、社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナアワード2009」において、トリトン・アーツ・ネットワークの活動を支援されている第一生命が最高賞を受賞されたことは、創設以来の地域に根ざした幅広い音楽活動を通じ、地域に貢献してきた結果の賜物であり、心よりお祝い申し上げます。

これからも地域の文化・芸術がますます発展することを願うと共に、トリトン・アーツ・ネットワークが更なる発展をとげられますよう、地域の一員として心からお祈り申し上げます。

財務部

第一生命保険株式会社

第一生命保険株式会社は、「良き企業市民」として健全な社会の発展に貢献することを目指し社会貢献活動に積極的に取組んでおり、音楽分野におけるメセナ活動の一環としてトリトン・アーツ・ネットワークを 2001 年の設立時より支援しております。
トリトン・アーツ・ネットワークは設立以来、第一生命ホールでの「芸術活動」と、地域住民へ良質な音楽を提供する「コミュニティ活動」を大きな柱として積極的に活動されています。

「芸術活動」では、ミッションの１つである「クラシック音楽を広める」を柱として、良質な音楽を楽しんでいただくための多彩なコンサートや催し物を企画されております。
芸術性に重点を置いた「弦楽四重奏」や人生における様々な場面に応じて音楽に出会う機会を提供していくための「ライフサイクルコンサート」など、芸術性の高さを維持しつつクラシックファンの裾野を着実に広げられています。
「コミュニティ活動」では、学校・病院・福祉施設等、音楽を必要としながらもホールに足を運べない人々に対して質の高い生演奏をお届けする「アウトリーチ」という形で幅広く音楽芸術の浸透を図っておられます。
これらの活動を通して多くの方々から支持を得られていることは、協賛する私どもにとりましても大変喜ばしく思います。
当社は、昨年９月、芸術文化の振興に高く貢献した企業・財団を顕彰する企業メセナ協議会主催「メセナアワード 2009」におきまして、トリトン・アーツ・ネットワークの音楽活動への物心両面での支援が認められ、最高賞である「メセナ大賞」および一般投票による「あなたが選ぶメセナ大賞」をダブル受賞いたしました。
この度の受賞は、第一生命ホールでの自主企画公演の担い手として、2001 年当時、民間ホールでは前例のないＮＰＯ法人という形態でトリトン・アーツ・ネットワークを立ち上げるとともに、多くの役職員が個人会員の加入やサポーターへの参加を通じて支え続けたことにより、地域に根ざした音楽活動を着実に拡げてきた点が高く評価されたものです。
これもひとえに、創意工夫あるコンサート企画やアウトリーチを先駆的に展開してきたトリトン・アーツ・ネットワークの活動の賜物とあらためて御礼申し上げます。
当社は、今後とも音楽芸術の更なる発展のためにトリトン・アーツ・ネットワークへの支援を通じ、良質な音楽の普及に貢献してまいりたいと存じます。

トリトン・アーツ・ネットワークにおかれましては、昨今の晴海周辺の人口増加による多様化したニーズにお応えいただき、10 周年に向けて更なるご活躍をお祈り申し上げます。

ＣＳＲ推進室長　桝永　慎一郎

Ⅲ．2009 年度の事業の成果

１．全体の総括

2009 年度も「クラシック音楽を『広める』『創る』『育てる』」というトリトン･アーツ･ネットワーク（ＴＡＮ）のミッションに基づき、ホール事業、コミュニティ事業、サポーター事業、評価事業の 4 つの事業を行った。

ＴＡＮが拠点とする第一生命ホールでの**ホール事業**（自主企画公演）は、主催公演が 27 公演、共催公演が 7 公演と、回数は昨年より更に増えて過去最高を数えた。主催公演の内訳は、「ライフサイクルコンサート」と「クァルテット･ウィークエンド」が共に 12 公演ずつ、他に特別コンサートが 3 公演である。

「ライフサイクルコンサート」は、人生の様々なステージ（ライフサイクル）で身近に音楽を楽しむ機会を提供するシリーズである。どの企画もＴＡＮの新たな看板として定着し、それぞれターゲットとした対象を中心に、集客も好調だった。（「広める」「創る」）

「クァルテット･ウィークエンド」は、継続的に弦楽四重奏を取り上げる、最もＴＡＮらしいとも言えるシリーズであり、各団体により意欲的な企画が繰り広げられた。（「創る」）

また若手演奏家を「育てる」ミッションを担う「アドヴェントセミナー」では、成果発表の場である午後の「クリスマスコンサート」に加え、午前中に「子どものためのクリスマスコンサート」も初めて行い好評だった。（「育てる」「広める」）

ホール周辺地域へ音楽を届ける**コミュニティ事業**の活動は 46 回を数え､継続した活動が定着している。(コミュニティ活動は対象と内容を見直し､「アウトリーチ」「ハロー！コンサート」(以上「広める」)､「レクチャーコンサート」(「創る」)､「晴海トリトンスクエア　グランドロビーコンサート」（「広める」「創る」)、「弦楽器体験ワークショップ」（「広める」「育てる」)、その他のイベントに整理、分類した。）中央区内の小学 4 年生に向けたアウトリーチでは、2009 年度の例を挙げると、ホール事業で招聘したカルミナ四重奏団による弦楽四重奏、６３０コンサートに登場した中川英二郎によるジャズ、共催公演の日本音楽集団による「Meet the 和楽器」等、受け入れ側である各学校の要望を取り入れた様々な音楽をお届けできる体制が整ってきた。アウトリーチを聞いた子供が、第一生命ホールでの公演に来る姿も見られ (それが主目的ではないにしても)、コミュニティ活動が与えるインパクトを実感できた。サポーター企画による、児童館での（高齢者と小学生が一緒に音楽を楽しむ）異世代交流コンサートの実現など、文化ボランティア拠点形成事業での成果もあった。

文化ボランティア拠点づくり事業では、昨年度は新たにサポーターが 11 名登録し、新メンバーがベテランサポーター勢と共に汗を流し育っている。7 月の「オープンハウス」、3 月の「育児支援コンサート」等は何年も参加しているベテラン勢の力なくしては成り立たない企画である。また、かつての第一生命ホールでのロビーコンサートを復活させたいという強い思いを持ったサポーター有志数名が「ロビーコンサート班」を自ら立ち上げたことから、新たにサポーター企画として、晴海グランドロビーコンサートがスタートしたことは特筆に価する。また上述したが、地域につながりを持つサポーターによる、高齢者と小学生のための「異世代交流コンサート」なども新たな企画として実現できた。

評価事業では、第3期の評価委員による2008年度報告書が提出された。「ミッションを起点とした自己評価のあり方」「TANのミッション、NPOとしての存在・社会的意義について」「ホール事業の集客について」「10周年に向けて中長期的な視点に基づく戦略、組織としてのTANの見せ方」について様々な角度から意見交換を行い、有意義な提言、アドバイスを頂けた。2009年度についてもTANの自己評価に沿った形で評価コメントをいただき、またTANのミッションに沿った活動か否かの視点でも評価をいただくべく、3回に亘り評価委員会を実施していただいている。

2. 自主企画公演事業

（1）ライフサイクルコンサート

人生における様々なステージによって対象を分けたそれぞれのシリーズが、企画内容も定着し、また集客も安定した1年だった。「広める」というミッションに貢献できたと思う。

「はじめのいっぽ」は、夜間は外出しづらい主婦や高齢者を対象に、平日昼間に開催するシリーズで、2008年度と同様8回行った。企画の趣旨に共感してくれる人気のアーティストが並び、全体として非常に高い集客率を得ることができた。前半、後半それぞれの 4回セット券も約200枚が売れ、多くのお客さまに気軽に音楽に親しんでいただく機会を提供できたと自負している。初めて第一生命ホールに足を運んだ方も多く、この点においても成果があった。

「６３０コンサート」は、晴海トリトンスクエアにお勤めのオフィスワーカーを主な対象として、年に2回のうち、1回はクラシックのみに限らないジャンルを超えた柔軟な音楽を、もう1回はやはり第一生命ホールに相応しいクラシック音楽を楽しんでいただく、という形がまとまってきた。9月はジャズが好評、2月は終演後に演奏家を囲んでのワインパーティーという初の試みを行った。オフィスワーカーに、仕事帰りに上質な音楽でリフレッシュしてもらうという目的にかなう企画として定着した。

「ふたりでコンサート」は、6回目を迎え、第1部は字幕つきのオペラアリア、第2部はオペラ歌手が歌う映画音楽や日本の歌など、なつかしの歌という構成が定着して、安心感がある企画に成長した。ターゲットである、ご夫婦ふたりの時間を大切にしていただきたい年代のお客さまに多数ご来場いただけるのは毎年うれしいことである。

「育児支援コンサート」は、第1部は親子が別々に楽しむ「大人のためのコンサート」と「子どものための音楽スタジオ」、第2部は「音楽と絵本」を中心とした「みんな一緒のコンサート」という構成で、不動の人気を誇る。「音楽スタジオ」の人数制限のため、これまではホールの残席に余裕があっても、これ以上はチケットが売れない「売り止め」になってしまうが、今回は絵本の題材が、小学校の教科書にも掲載される名作「スーホの白い馬」だったせいもあって、小学生の来場も多く完売になった。ホールとスタジオの企画を考えてくれるアーティスト、スタジオの企画に積極的に参加するサポーター、そしてスタッフが一丸となって行う、ＴＡＮならではの大切なシリーズである。

公演名	〈ライフサイクルコンサート #38〉 クラシック はじめのいっぽ Vol.13 ソプラノ～森 麻季～	 小田 東
公演日 開演時間	2009 年 5 月 27 日（水） 11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 ペア券¥2,500 セット券¥4,500	
入場者数	695 名／キャパシティ 767 名(91%)	
出演者	森 麻季（ソプラノ） 山岸茂人（ピアノ）	
演奏曲	ヘンデル：歌劇「リナルド」よりアリア「涙の流れるままに」／ 歌劇「セルセ」よりアリア「オンブラ・マイ・フ」 ハイドン：オラトリオ「天地創造」より「今みずみずしい緑が野に萌え」 プッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「私の愛しいお父さん」 バッハ／グノー：アヴェ・マリア カッチーニ：アヴェ・マリア 越谷達之助：初恋 山田耕筰：からたちの歌	
結果・振り返り	人気のソプラノ森麻季の出演により入場率が90%を越え、初めて第一生命ホールへ来るお客様も多く新規顧客の開拓ができた。また、セット券での購入者が 200 組あり、日常的にホールへ来場くださる顧客を得ることができた。 今後の目標は、出演者によって変動のないよう、シリーズとして継続してきてくださる来場者を増やしたい。	
協賛	アメリカンファミリー生命保険会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈ライフサイクルコンサート #39〉 クラシック はじめのいっぽ Vol.14 ヴァイオリン～川畠成道～	 小田 東
公演日 開演時間	2009 年 6 月 30 日（火） 11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 ペア券¥2,500 セット券¥4,500	
入場者数	644 名／キャパシティ 767 名(84%)	
出演者	川畠成道（ヴァイオリン） 山口研生（ピアノ）	
演奏曲	モーツァルト：ヴァイオリンソナタト長調 K.301 クライスラー：愛の悲しみ／愛の喜び ヴィエニャフスキ：モスクワの思い出 メンデルスゾーン：歌の翼に ブラームス：ハンガリー舞曲第 5 番 パガニーニ：カンタービレ リムスキー=コルサコフ：熊蜂の飛行 カッチーニ：アヴェ・マリア モンティ：チャルダッシュ	
結果・振り返り	ヴァイオリンの名曲を集めたプログラムと演奏者自らのトークでお客様に楽しんでいただくことができた。	
協賛	アメリカンファミリー生命保険会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈ライフサイクルコンサート #40〉 クラシック はじめのいっぽ Vol.15 バリトン～宮本益光～ ～夏休みファミリースペシャル～	 小田 東
公演日 開演時間	2009 年 7 月 30 日（木） 11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 ペア券¥2,500 セット券¥4,500	
入場者数	368 名／キャパシティ 767 名(48%)	
出演者	宮本益光（バリトン） 加藤昌則（ピアノ）	
演奏曲	成田為三：浜辺の歌 加藤昌則：さくらつぼみ 團伊玖磨：ぞうさん 宮本益光：パパとママのうた 加藤昌則：あくびのうた モーツァルト：歌劇「魔笛」より「オイラは鳥刺し」 シューベルト：子守歌 山本正美：ねむの木の子守歌 ビゼー：歌劇「カルメン」より闘牛士の歌「諸君の乾杯を喜んで受けよう」 武満 徹：小さな空	
結果・振り返り	客席から登場したり、ステージから客席へ降りたり、会場のみなさんと歌ったりと、1曲1曲に演奏者のアイデアで散りばめられていて、お客様に満足いただける楽しいステージであった。シリーズの中では集客が伸びなかったが、プログラムの内容が楽しいものであることがわかるような広報・宣伝し、親子にもっと来場していただきたかった。	
協賛	アメリカンファミリー生命保険会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈ライフサイクルコンサート #41〉 クラシック はじめのいっぽ Vol.16 ピアノ～仲道郁代～ ～夏休みファミリースペシャル～	 小田 東
公演日 開演時間	2009 年 8 月 25 日（火） 11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 ペア券¥2,500 セット券¥4,500	
入場者数	690 名／キャパシティ 767 名(90%)	
出演者	仲道郁代（ピアノ）	
演奏曲	ベートーヴェン：ピアノソナタ第 5 番ハ短調 op.10-1 ショパン：エチュード op.10-12「革命」／エチュード op.10-3「別れの曲」／ポロネーズ第 6 番変イ長調 op.53「英雄」 リスト：メフィストワルツ第 1 番 S.514	
結果・振り返り	ピアノの公演は人気があり、親子での来場もシリーズの中では一番多かった。 演奏者自らのわかりやすいトークも好評であった。	
協賛	アメリカンファミリー生命保険会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈ライフサイクルコンサート #42〉 630コンサート～充電の 1 時間～ 中川英二郎(トロンボーン)	 小田 東
公演日 開演時間	2009 年 9 月 10 日(木) 18:30 開演	
チケット料金	一般￥1,500、トリトンポイントカード会員￥1,300	
入場者数	514 名／キャパシティ 767 名(67%)	
出演者	中川英二郎(トロンボーン)、和泉宏隆(ピアノ)	
演奏曲	山下康介:NHK 連続テレビ小説「瞳」メインテーマ V.モンティ:チャールダーシュ 中川英二郎:イントゥ・ザ・スカイ 和泉宏隆:ハートランド(ピアノソロ) 中川英二郎:トライセンス J.S.バッハ:G 線上のアリア	
結果・振り返り	仕事帰りに癒しの1時間を提供するシリーズにジャズ奏者が登場。ホールで聴くコンサートとして、ジャズだけでなくクラシックやオリジナル曲も取り上げるなど、充実したプログラムになった。アンケートでも「充電されました」等、好評の声が多かった。 シリーズとしては、トリトンスクエア内企業の社内掲示板等に定期的に情報掲載をすることによって、定期的な公演として認知度があがってきている。	
協賛	第一生命保険相互会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈ライフサイクルコンサート #43〉 クラシック はじめのいっぽ Vol.17 ヴァイオリン＆ピアノ～安永徹＆市野あゆみ～	 小田 東
公演日 開演時間	2009 年 10 月 22 日(木) 11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 ペア券¥2,500 セット券¥4,500	
入場者数	387 名／キャパシティ 767 名(50%)	
出演者	安永徹(ヴァイオリン) 市野あゆみ(ピアノ)	
演奏曲	ブラームス:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第 1 番ト長調 op.78「雨の歌」 エルガー:2 つの小品 op.15 シベリウス:5 つの小品 op.81 より第 3 曲ワルツ リリ・ブーランジェ:3 つの小品より「夜想曲」ヘ長調／「行列」ホ長調 ピアソラ:言葉のないミロンガ チャップリン:映画「モダン・タイムス」より「スマイル」	
結果・振り返り	後期シリーズもセット券での購入者が 194 組と前期シリーズ並に多く、シリーズが定着してきた。 普段あまり耳にしない名曲を聴けたことが好評だった。	
協賛	アメリカンファミリー生命保険会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈ライフサイクルコンサート #44〉 クラシック はじめのいっぽ Vol.18 ギター～大萩康司～	 小田 東
公演日 開演時間	2009 年 11 月 19 日（木） 11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 ペア券¥2,500 セット券¥4,500	
入場者数	436 名／キャパシティ 767 名(57%)	
出演者	大萩康司（ギター）	
演奏曲	レオ・ブローウェル：11 月のある日 武満徹編：「ギターのための 12 の歌」より「ロンドンデリーの歌」(アイルランド民謡) ／「イエスタデイ」（レノン & マッカートニー） タレガ：アルハンブラの思い出 ヴィラ＝ロボス：ショーロス第１番 アリエル・アッセルボーン：老いた賢者／風の道 藤井敬吾：羽衣伝説～山入端博の旋律に基づく～	
結果・振り返り	主催公演では初のクラシックギターによるリサイタルを実施。初めてギターを聴くというお客様も多く好評であった。	
協賛	アメリカンファミリー生命保険会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈ライフサイクルコンサート#45〉 ふたりでコンサートⅥ ～オペラの楽しみ～	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 11 月 29 日（日） 15:00 開演	
チケット料金	ペア￥5,000 一般￥3,000 学生（限定）￥1,000 エスコート割引￥4,000 当日後半割引￥1,500	
入場者数	548 名／キャパシティ 767 名(71%)	
出演者	野田ヒロ子(ソプラノ) 森山京子(メゾ・ソプラノ) 中鉢 聡(テノール) 三浦克次(バス・バリトン) 瀧田亮子(ピアノ)	
演奏曲	【第一部】声の饗宴－オペラの世界へ モーツァルト：「フィガロの結婚」より「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」 サン=サーンス：「サムソンとデリラ」より「愛の神よ、助けに来ておくれ」 ドニゼッティ：「愛の妙薬」より「人知れぬ涙」 ヴェルディ：「トロヴァトーレ」より「恋はばら色の翼に乗って」 ビゼー：「カルメン」より 闘牛士の歌「諸君の乾杯を喜んで受けよう」 プッチーニ：「蝶々夫人」より 花の二重唱「桜の枝をゆすり、花びらを敷き」 マスネ：「ル・シッド」より「おお、全能なる神よ」 ロッシーニ：「ラ・チェネレントラ」より「貴女ですね？」 【第二部】懐かしい名歌への誘い 四季の歌 メドレー 花（武島又次郎／滝廉太郎）～夏の思い出（江間章子／中田喜直）～まっかな秋（薩摩 忠／小林秀雄）～雪の降る街を（内田直也／中田喜直） 岩河智子：雨のロンド 永 六輔／いずみたく：見上げてごらん夜の星を アイラ・ガーシュウィン／ジョージ・ガーシュウィン：ザ・マン・アイ・ラヴ（私の愛した人） シーザー／ガーシュウィン：スワニー	

	シュルツェ：映画「リリー・マルレーン」より「リリー・マルレーン」 ペニャロサ／フィリベルト：カミニート ポーター：エブリタイム・ウイ・セイ・グッバイ（さよならを言うたびに） レハール：オペレッタ「ジプシーの恋」より「ツィンバロンの響きを聞けば」 レハール：オペレッタ「ジュディッタ」より「私の唇にあなたは熱いキスをした」 J. シュトラウス 2 世：オペレッタ「ジプシー男爵」より「世界中を旅してまわった」 トゥルコ／デンツァ：フニクリ・フニクラ
結果・振り返り	気軽に聴きに来られる歌のコンサートとして、リピーター率の高い企画。今年は第一部にオペラアリアだけでなく二重唱も入り、第二部は日本の歌から映画音楽、オペレッタまで多彩な曲が揃った。毎年楽しみにしている会員の方も多く、夫婦・友人など多くの 2 人連れで賑わった。
協賛	第一生命保険相互会社
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業
協力：	鴻星海鮮酒家、Dynamic Dining 御八、晴海トリトン（住商アーバン開発株式会社）

公演名	〈ライフサイクルコンサート#46〉 630コンサート～充電の 1 時間～ 仕事帰りに上質な音楽とワインでリフレッシュ！	 小田 東
公演日 開演時間	2010 年 2 月 4 日（木） 18:30 開演	
チケット料金	一般￥1,500、トリトンポイントカード会員￥1,300 （グラスワイン付ミニパーティーチケット¥500）	
入場者数	644 名／キャパシティ 767 名(84%)	
出演者	横山幸雄（ピアノ） 矢部達哉（ヴァイオリン）	
演奏曲	モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ変ロ長調 K.454 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第 17 番ニ短調「テンペスト」op.31-2 ショパン:アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ変ホ長調 op.22 クライスラー：クープランの様式によるルイ 13 世の歌とパヴァーヌ クライスラー：ボッケリーニの様式によるアレグレット	
結果・振り返り	終演後ワイン・エキスパートの資格を持つ出演者を囲んでロビーでミニパーティーを開催した。パーティーチケットは発売早々に完売。参加したかったとの希望も多かった。パーティーで使用したワインは当日に限りホール内バーカウンターで販売、トリトン内のワインショップでも公演後しばらく取り扱ってもらうなど、各方面との協力を得て実施することが出来た。 コンサートは、質の高い演奏と親しみやすいトークに、普段コンサートに行き慣れない来場者からも満足の声が多かった。	
協賛	第一生命保険相互会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	<ライフサイクルコンサート #47> クラシック はじめのいっぽ Vol.19 チェロ＆ピアノ～石坂団十郎＆マルクス・シルマー～	 小田 東
公演日 開演時間	2010 年 2 月 10 日（水） 11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 ペア券¥2,500 セット券¥4,500	
入場者数	340 名／キャパシティ 767 名(44%)	
出演者	石坂団十郎（チェロ） マルクス・シルマー（ピアノ）	
演奏曲	ベートーヴェン：モーツァルトの「魔笛」の「娘か女か」の主題による 12 の変奏曲ヘ長調 op.66／チェロ・ソナタ第 3 番イ長調 op.69 より第１楽章（初稿版） ／ヘンデルの「ユダ・マカベア」の「見よ勇者は帰る」の主題による 12 の変奏曲ト長調 WoO.45／チェロ・ソナタ第 2 番ト短調 op.5-2	
結果・振り返り	日本ではまだ露出が比較的少ないアーティストだったためか集客が思うように伸びなかったが、来場者の満足度はとても高かった。今後もアーティストの知名度に関わらず「このシリーズに来るといい演奏が聴ける」という信頼性を高めていかなければならない。	
協賛	アメリカンファミリー生命保険会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	<ライフサイクルコンサート #48> クラシック はじめのいっぽ Vol.20 ピアノ～清水和音～	 小田 東
公演日 開演時間	2010 年 3 月 18 日（木） 11:30 開演	
チケット料金	一般¥1,500 ペア券¥2,500 セット券¥4,500	
入場者数	597 名／キャパシティ 767 名(78%)	
出演者	清水和音（ピアノ）	
演奏曲	ベートーヴェン：ピアノ・ ソナタ第 21 番ハ長調 op.53「ワルトシュタイン」 リスト：「慰め」S.14 より第 3 番変ニ長調／「巡礼の年第 2 年:イタリア」S.161 より「ペトラルカのソネット第 104 番」 ラヴェル：水の戯れ／亡き王女のためのパヴァーヌ ラフマニノフ（ワイルド編）：ここは素晴らしい場所 op.21-7／何という苦しさ op.21-12 ／ヴォカリーズ op.34-14／春の流れ op.14-11	
結果・振り返り	来場者の満足度が高く、アンケートの回収率は 24%と比較的高かった。 団体のお客さまで音楽ホールに来慣れていない方が一部いたためか客席が少しざわついてしまい、他のお客様からのクレームが8件ほどあった。事前にホール内でのマナーについて書かれたものを配るなど配慮が必要であった。 「クラシックはじめのいっぽ」シリーズは、演奏者やプログラムに対する満足度がとても高く、また、1時間で聴けるという部分も好評を得ている。平日昼間の1時間という枠は継続して行っていくべきであると感じた。	
協賛	アメリカンファミリー生命保険会社	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈ライフサイクルコンサート#49〉 育児支援コンサート 子どもを連れてクラシックコンサート	 大窪道治 ／ 福音館書店
公演日 開演時間	2010 年 3 月 28 日（日） 14:00 開演	
チケット料金	大人¥2,000（中学生以上）、 子ども¥1,000（4 歳以上）	
入場者数	592 名／キャパシティ 714 名(83%)	
出演者	田村　緑（ピアノ）、永井由比（フルート）、西尾郁子（クラリネット）、小川正毅（ホルン）、松尾桜（打楽器）、弦楽四重奏［野口千代光(第 1 ヴァイオリン)、千葉純子(第 2 ヴァイオリン)、青木史子(ヴィオラ)、羽川真介(チェロ)］、市橋邦彦（朗読）	
演奏曲	第 1 部（約 30 分） ◆大人のためのコンサート（小学生からホールで聴いて頂きます） ～田村緑ピアノリサイタル～ メンデルスゾーン：無言歌集よりイ長調「春の歌」op.62-6 シューマン（リスト編曲）：献呈 プロコフィエフ：ロメオとジュリエット ショパン：エチュード第 3 番　ホ長調「別れの曲」op.10-3 ショパン：「華麗なる円舞曲」第 2 番　変イ長調 op.34-1、他 ◆子どものための音楽スタジオ（2003 年 4 月 2 日～2006 年 4 月 1 日生まれの幼児対象） 年齢順に 4 部屋に分かれて管楽器と打楽器による楽しい音楽体験をします。 第 2 部（約 40 分） ◆みんな一緒のコンサート ★アンサンブルを聴いてみよう！ ビゼー（長生淳編曲）：カルメン組曲より「前奏曲」（奏者全員） メンバー紹介&楽器紹介 プーランク：「3 つのノヴェレッテ」より、第 1 番（フルート、クラリネット、ホルン、ピアノ） リムスキー=コルサコフ：熊蜂の飛行　（マリンバ、ピアノ） ★音楽と絵本「スーホの白い馬」（奏者全員＋市橋邦彦朗読） （モンゴル民話、大塚勇三再話、赤羽末吉画、福音館書店出版）	 大窪道治
結果･振り返り	例年より 1 時間早い 14:00 開演に変更したが、そのことによるスケジュールの不都合やトラブルは無かった。チケットは子どものための音楽スタジオ対象者を年齢順でクラス分けしたため、売り止めではなく完売することができた。全体的には楽しかったという感想が多く、6-7 回目というリピーターの方からも高い評価をいただいている。音楽と絵本で取り上げた「スーホの白い馬」も好評であった。	
協賛	第一生命保険相互会社	
協力	株式会社福音館書店	

（２）クァルテット・ウィークエンド

「フェスタ」には、カルミナ四重奏団とベネヴィッツ・クァルテットが登場。スイスから招聘したカルミナ四重奏団による４つの公演は、古典から現代、ゲストを迎えての五重奏までいずれも完成度が高く、聴き応えがあった。CD の新譜も同時に日本で発売されたために話題性もあり、「フェスタ」らしい盛り上がりが生まれた。ベネヴィッツ・クァルテットはチェコ出身で、イタリアにおける 2008 年第８回「パオロ・ボルチアーニ賞」国際弦楽四重奏コンクールの優勝団体。今後世界で活躍する気鋭の若手を紹介することができた。

「ガレリア」では５つの弦楽四重奏団による７公演（うち４月の１公演は、前シーズンとカウント）が行われた。古典四重奏団によるショスタコーヴィチの全曲演奏会、プレアデス・ストリング・クァルテットによるベートーヴェンの全曲演奏会が終了した。エルデーディ弦楽四重奏団は生誕 200 年記念のメンデルスゾーン、クァルテット・エクセルシオは、「ラボ・エクセルシオ 20 世紀・日本と世界 III」と題して、シュニトケと西村朗の作品のぶつかり合いに取り組んだ。新登場のカントゥス・クァルテットは、自らが指導するアマチュア演奏家などを中心に SQW 史上最多入場者を集めた。ミッションのうち「創る」が主となる SQW にも、「広める」ことができる可能性が見えた瞬間だった。

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2008-2009 Galleria〉 エルデーディ弦楽四重奏団〈#79〉 ハイドン没後 200 年を記念してII	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 4 月 12 日（日） 15:00 開演	
チケット料金	単独券（一般）¥3,500、（シニア）¥2,500、（ヤング）¥1,500	
入場者数	211 名／キャパシティ 767 名(28%)	
出演者	エルデーディ弦楽四重奏団 ［蒲生克郷／花崎淳生（ヴァイオリン）、桐山建志（ヴィオラ）、花崎 薫（チェロ）］	
演奏曲	ハイドン：弦楽四重奏曲第 24 番イ長調 op.9-6 Hob.III-24 ハイドン：弦楽四重奏曲第 23 番変ロ長調 op.9-5 Hob.III-23 ハイドン：弦楽四重奏曲 op.51「十字架上のキリストの最後の七つの言葉」	
結果・振り返り	ハイドンの没後 200 年という事で、2008 年度から続きハイドン作品を取り上げた公演。演奏機会の少ない「十字架上のキリストの最後の七つの言葉」の弦楽四重奏版を演奏し、聴衆からの評価が高かった。	
助成	平成 20 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Festa〉 カルミナ四重奏団 Festa 第 1 日〈#80〉 The Inheritors－伝統を受け継ぐ者	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 6 月 6 日（土） 18:00 開演	
チケット料金	※下記参照	
入場者数	464 名／キャパシティ 767 名(60%)	

出演者	カルミナ四重奏団［マティ-アス･エンデルレ／スザンヌ･フランク（ヴァイオリン）、 ウェンディ･チャンプニー（ヴィオラ）、シュテファン･ゲルナー（チェロ）］		
演奏曲	ハイドン：弦楽四重奏曲第 77 番ハ長調 op.76-3 Hob.III-77「皇帝」 ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲第 12 番ヘ長調 op.96 B.179「アメリカ」 シューベルト：弦楽四重奏曲第 14 番ニ短調 D.810「死とおとめ」		
結果･振り返り	安定感のある演奏で、弦楽四重奏の代表曲といっても良い 3 曲をおおくりできた。 来場者の満足度も非常に高かったようだ。		
協賛	J.P.モルガン証券	後援	スイス大使館
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業		

公演名	〈クァルテット･ウィークエンド 2009-2010 Festa〉 カルミナ四重奏団 Festa 第 2 日〈#81〉 The Innovators－新たな地平を拓く者	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 6 月 7 日（日） 15:00 開演	
チケット料金	※下記参照	
入場者数	357 名／キャパシティ 767 名(47%)	
出演者	カルミナ四重奏団［マティ-アス･エンデルレ／スザンヌ･フランク（ヴァイオリン）、 ウェンディ･チャンプニー（ヴィオラ）、シュテファン･ゲルナー（チェロ）］	
演奏曲	モーツァルト：セレナード第 13 番ト長調 K.525「アイネ･クライネ･ナハトムジーク」 モーツァルト：弦楽四重奏曲第 15 番ニ短調 K.421 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 7 番ヘ長調 op.59-1 「ラズモフスキー第 1 番」	
結果･振り返り	モーツァルトとベートーヴェンという 2 人の大作曲家の古典作品を取り上げ、完成度の高い演奏をおおくりできた。 1 日目に引き続き、来場者の満足度は高かったようだ。	
協賛	J.P.モルガン証券	後援　スイス大使館
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈クァルテット･ウィークエンド 2009-2010 Festa〉 カルミナ四重奏団 Festa 第 3 日〈#82〉 The Communicators－世界をつなぐ者	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 6 月 12 日（金） 19:00 開演	
チケット料金	※下記参照	
入場者数	383 名／キャパシティ 767 名(50%)	
出演者	カルミナ四重奏団［マティ-アス･エンデルレ／スザンヌ･フランク（ヴァイオリン）、 ウェンディ･チャンプニー（ヴィオラ）、シュテファン･ゲルナー（チェロ）］	
演奏曲	メンデルスゾーン：弦楽五重奏曲第 2 番変ロ長調 op.87（ヴィオラ：川本嘉子） ブラームス：ピアノ五重奏曲ヘ短調 op.34（ピアノ：田部京子）	
結果･振り返り	ヴィオラ、ピアノという2人の共演者と演奏する事により、弦楽四重奏の魅力のさらなる広がりを伝える事ができた。 両共演者ともカルミナとは何度か共演しているため、息のあった演奏をおおくりできた。	
協賛	J.P.モルガン証券	後援　スイス大使館
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業	

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Festa〉 カルミナ四重奏団 Festa 第 4 日〈#83〉 The Challengers－挑戦する者	 大窪道治	
公演日 開演時間	2009 年 6 月 13 日（土） 18:00 開演		
チケット料金	※下記参照		
入場者数	337 名／キャパシティ 767 名(44%)		
出演者	カルミナ四重奏団［マティ-アス･エンデルレ／スザンヌ･フランク（ヴァイオリン） 、 ウェンディ･チャンプニー（ヴィオラ）、 シュテファン･ゲルナー（チェロ）］		
演奏曲	バルトーク：弦楽四重奏曲第 2 番 op.17 シャーンドル・ヴェレッシュ：弦楽四重奏曲第 1 番 ダニエル・シュナイダー：弦楽四重奏曲第 3 番 ラヴェル：弦楽四重奏曲ヘ長調		
結果･振り返り	ヴェレッシュ、シュナイダーという現代作曲家の作品を取り上げる事により、前衛的な公演となった。また、NHK が収録を行い、BS のみならず、地上波の「芸術劇場」でも放映され、第一生命ホールの知名度アップにも貢献した。		
協賛	J.P.モルガン証券	後援	スイス大使館
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業		

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Festa〉 ベネヴィッツ・クァルテット Festa 第 5 日〈#84〉	 大窪道治	
公演日 開演時間	2009 年 6 月 14 日（日） 15:00 開演		
チケット料金	※下記参照		
入場者数	220 名／キャパシティ 767 名(29%)		
出演者	ベネヴィッツ・クァルテット[イェルジー・ネメチェック／シュテパン・イェジェック(ヴァイオリン)、 イェルジー・ピンカス(ヴィオラ) 、シュテパン・ドレジャール(チェロ)]		
演奏曲	ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 12 番変ホ長調 op.127 シューベルト：弦楽四重奏曲第 13 番イ短調 op.29 D.804「ロザムンデ」		
結果･振り返り	2008 年のボルチアーニコンクールの優勝団体であり、優勝記念ワールドツアーとして行われた。日本公演はツアーの最後にあたり、経験を積んで成長し、内容は充実していた。今後世界での活躍が期待される若手クァルテットを紹介できた意義は大きい。集客が課題。		
協賛	J.P.モルガン証券	後援	スイス大使館
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業		

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Galleria〉 古典四重奏団〈#85〉 ショスタコーヴィチ・ツィクルス vol.2-1	 大窪道治	
公演日 開演時間	2009 年 10 月 3 日（土） 18:00 開演		
チケット料金	※下記参照		
入場者数	191 名／キャパシティ 767 名(25%)		
出演者	古典四重奏団［川原千真（第 1 ヴァイオリン） 花崎淳生（第 2 ヴァイオリン）、 三輪真樹（ヴィオラ）、田崎瑞博（チェロ）］		
演奏曲	ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 10 番変イ長調 op.118		

	ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 11 番ヘ短調 op.122 ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 12 番変ニ長調 op.133
結果・振り返り	一昨年のショスタコーヴィチ全曲演奏会の続きとして、10 番から 12 番までを演奏、比較的難解な作曲家の作品なので、チケットの販売数は伸び悩んだが、来場者の演奏についての満足度は高かった。公演に先駆けてのレクチャーコンサートも充実した内容だった。
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業／財団法人日本室内楽振興財団／ 財団法人ローム ミュージック ファンデーション／財団法人花王芸術・科学財団

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Galleria〉 プレアデス・ストリング・クァルテット〈#86〉 ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会 VI	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 10 月 18 日（日） 15:00 開演	
チケット料金	※下記参照	
入場者数	280 名／キャパシティ 767 名(37%)	
出演者	プレアデス・ストリング・クァルテット［松原勝也／鈴木理恵子（ヴァイオリン）、 川崎和憲（ヴィオラ）、山崎伸子（チェロ）］	
演奏曲	ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 6 番変ロ長調 op.18-6 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 11 番ヘ短調 op.95「セリオーソ」 ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 16 番ヘ長調 op.135	
結果・振り返り	プレアデスのベートーヴェン全曲演奏会の最終回。演奏家が教鞭をとっているからか、若い世代の来場者が多いのが特徴。 完成度が高く、ベートーヴェンを愛好する方からも評価が良かった。	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業／財団法人日本室内楽振興財団／ 財団法人ローム ミュージック ファンデーション	

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Galleria〉 古典四重奏団〈#87〉 ショスタコーヴィチ・ツィクルス vol.2-2	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 11 月 3 日（火・祝） 15:00 開演	
チケット料金	※下記参照	
入場者数	232 名／キャパシティ 767 名(30%)	
出演者	古典四重奏団 ［川原千真（第 1 ヴァイオリン）、花崎淳生（第 2 ヴァイオリン）、 三輪真樹（ヴィオラ） 、田崎瑞博（チェロ）］	
演奏曲	ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 13 番変ロ短調 op.138 ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 14 番嬰ヘ長調 op.142 ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第 15 番変ホ短調 op.144	
結果・振り返り	ショスタコーヴィチ全曲演奏の最終回。10 月の公演よりもチケット販売数が伸びた。 古典四重奏団ならではの暗譜での演奏に毎回、賞賛の声が多い。	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業／財団法人日本室内楽振興財団／ 財団法人ローム ミュージック ファンデーション／財団法人花王芸術・科学財団	

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Galleria〉 エルデーディ弦楽四重奏団〈#88〉 メンデルスゾーン生誕 200 年を記念して	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 12 月 6 日（日） 15:00 開演	
チケット料金	※下記参照	
入場者数	269 名／キャパシティ 767 名(35%)	
出演者	エルデーディ弦楽四重奏団 ［蒲生克郷／花崎淳生（ヴァイオリン） 、桐山建志（ヴィオラ）、花崎 薫（チェロ）］	
演奏曲	メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第 2 番イ短調 op.13 メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第 4 番ホ短調 op.44-2 メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第 6 番ヘ短調 op.80	
結果・振り返り	生誕 200 年を記念してメンデルスゾーンの曲のみで構成。安定感のある演奏で、評価も高い。	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業／財団法人日本室内楽振興財団／ 財団法人ローム ミュージック ファンデーション	

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Galleria〉 クァルテット・エクセルシオ〈#89〉 ラボ・エクセルシオ 20 世紀・日本と世界 III	 小倉直子
公演日 開演時間	2010 年 2 月 6 日（土） 18:00 開演	
チケット料金	※下記参照	
入場者数	185 名／キャパシティ 767 名(24%)	
出演者	クァルテット・エクセルシオ ［西野ゆか／山田百子（ヴァイオリン）、吉田有紀子（ヴィオラ）、大友 肇（チェロ）］	
演奏曲	西村朗：弦楽四重奏のためのヘテロフォニー 西村朗：弦楽四重奏曲第 2 番「光の波」 シュニトケ：弦楽四重奏曲第 2 番 シュニトケ：弦楽四重奏曲第 3 番	
結果・振り返り	シュニトケと相対する作曲家西村朗作品を取り上げ、実験的な試みとして公演を実施。サントリー芸術財団より推薦コンサートとして助成を受けた。 西村朗氏も演奏に対して絶賛。	
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業／財団法人日本室内楽振興財団／ 財団法人ローム ミュージック ファンデーション	

公演名	〈クァルテット・ウィークエンド 2009-2010 Galleria〉 カントゥス・クァルテット〈#90〉 うたは時をこえ海をこえ	 大窪道治
公演日 開演時間	2010 年 3 月 13 日（土） 18:00 開演	
チケット料金	※下記参照	
入場者数	618 名／キャパシティ 767 名(81%)	
出演者	カントゥス・クァルテット ［物集女純子／梅原真希子（ヴァイオリン） 、大島路子（ヴィオラ）、森澤 泰（チェロ）］	
演奏曲	シューベルト：弦楽四重奏曲第 13 番イ短調 op.29 D.804「ロザムンデ」	

	アイヴス：弦楽四重奏曲第 1 番ハ長調「救世軍より」 チャイコフスキー：弦楽四重奏曲第 2 番ヘ長調 op.22
結果・振り返り	出演者の販売努力もあり、600 名以上の集客があった。 彼らが演奏する際に大切にする“うた”にこだわった選曲であった。
助成	平成 21 年度文化庁芸術拠点形成事業／財団法人日本室内楽振興財団／ 財団法人ローム ミュージック ファンデーション

※チケット料金（クァルテット・ウィークエンド 2009－2010 共通）
全席指定　オールシーズン券（全 11 公演）¥22,000、Festa 券（6 月の 5 公演）¥11,500、Galleria 券（10 月～2010 年 3 月の 6 公演）¥13,800、回数券 3（全 11 公演から 3 公演を選択／一般）¥9,900、回数券 3（全 11 公演から 3 公演を選択／シニア）¥7,200、単独券（一般）¥3,500、単独券（シニア）¥2,500、単独券（ヤング）¥1,500
＊シニアは 60 才以上、ヤングは小学生～25 才。

（３）特別コンサート

「育てる」のミッションを担うアドヴェントセミナーには、2 年、3 年と連続して参加する受講生もあり、このセミナーへの意気込みが伺える一方で、もっと多くの若手演奏家にチャンスを与えられないかというジレンマもある。昨年までクリスマスコンサートの午前中、子供向けに公開リハーサルとしていたものを、2009 年度は「子どものためのクリスマスコンサート」に変更。楽器の紹介をしたり、舞台に上がって聴いてもらったり、演奏時間は 1 時間に収めるなどの工夫をした。こちらは大盛況だったが、本番の「クリスマスコンサート」は集客に課題が残る。10 日間のセミナーで、悩み苦しみながら曲を仕上げた経験が、若手演奏家の将来の糧となることを願っている。

第一生命からの協賛でニューイヤーコンサートを開催。内容も、室内オーケストラにソリストが 4 人と華やかで、チケット料金もこれまでの TAN 主催公演より高かったにも関わらず、初めての来場者も多く、第一生命ホールでできることがあるという手ごたえと可能性を感じた。

公演名	子どものためのクリスマスコンサート	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 12 月 23 日（水・祝） 10:30 開演	
チケット料金	大人￥1,000（中学生以上）　子ども￥500（4歳以上）	
入場者数	505 名／キャパシティ 714 名(71%)	
出演者	松原勝也／鈴木理恵子（ヴァイオリン）、川崎和憲／市坪俊彦（ヴィオラ）、 山崎伸子（チェロ）、 アドヴェント弦楽合奏団	
演奏曲	モーツァルト：ディヴェルティメント変ロ長調 K.137(125b) パッヘルベル：カノン　ニ長調 J.S.バッハ：エア～管弦楽組曲第 3 番ニ長調 BWV1068 より J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ チャイコフスキー：「フィレンツェの思い出」 ニ短調　op.70 （弦楽合奏版） より第 4 楽章	
結果・振り返り	お子様がステージ上で一部の楽曲を聴く事ができる企画を入れ、音楽をより身近に感じても	

	らえた。子ども達にインタビューをした所、お腹に振動があったや、楽しかったなどの意見があった。保護者の満足度も高かったようだ。 また、受講生による楽器紹介では、それぞれの楽器の特徴を出せるような楽曲を選ぶなど、受講生にとっても勉強になる企画を実施できた。		
協賛	第一生命保険相互会社	後援	社団法人日本演奏家連盟

公演名	クリスマスコンサート 2009	 大窪道治
公演日 開演時間	2009 年 12 月 23 日（水・祝） 17:00 開演	
チケット料金	一般￥3,000 シニア￥2,000（60 歳以上） ヤング￥1,000（小学生以上、25 歳以下）	
入場者数	313 名／キャパシティ 714 名(44%)	
出演者	松原勝也／鈴木理恵子（ヴァイオリン）、川崎和憲／市坪俊彦（ヴィオラ）、 山崎伸子（チェロ）、 アドヴェント弦楽合奏団	
演奏曲	モーツァルト：ディヴェルティメント変ロ長調 K.137(125b) パッヘルベル：カノン ニ長調 J.S.バッハ：エア～管弦楽組曲第 3 番ニ長調 BWV1068 より J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ メンデルスゾーン：弦楽のための交響曲第 10 番ロ短調 ヴォルフ：セレナード ト長調 （弦楽四重奏版） チャイコフスキー：「フィレンツェの思い出」 ニ短調 op.70 （弦楽合奏版）	
結果・振り返り	昨年に比べ、クリスマスらしい小品をプログラムにいれ、親近感を持ってもらえたようだ。 講師 4 名による、ヴォルフのセレナードは完成度が高く、クラシック愛好者の来場者には非常に好評だった。	
協賛	第一生命保険相互会社	後援 社団法人日本演奏家連盟

公演名	モーツァルトのニューイヤー 協奏曲の午後	 小田東
公演日・開演時間	2010 年 1 月 23 日（土） 14:00 開演	
チケット料金	S¥5,000 A¥4,000	
入場者数	635 名／キャパシティ 767 名(83%)	
出演者	川久保賜紀（ヴァイオリン）、小山裕幾（フルート）、吉野直子（ハープ）、赤坂達三（クラリネット）、管弦楽=N響メンバーによる室内オーケストラ（コンサートマスター：山口裕之）	
演奏曲	モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第 5 番イ長調 K.219「トルコ風」 フルートとハープのための協奏曲ハ長調 K.299 (297c) クラリネット協奏曲イ長調 K.622	
結果・振り返り	アンケートによれば、他のホールで「チラシ」を見て、「曲目」や「出演者」に惹かれ、「初めて第一生命ホールに来た」というクラシックを聴きなれた聴衆が多かった。都内、千葉、神奈川からのチケット購入者が多く、内容への満足度は高かった。 近年チケット料金が 5,000 円という例がなかったが、今回得た顧客層を、来年からの新シリーズ「音楽のある週末」へ誘導していきたい。	
協賛	第一生命保険相互会社	

（４）共催公演

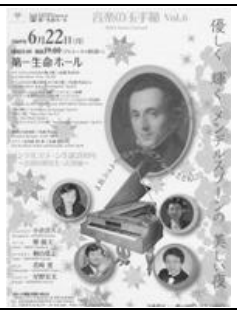
主催公演ではなかなかできないジャンルである、古楽器、合唱、邦楽器、しかもその分野での最高峰を、共催でできることはとてもありがたいことである。古楽では、ホールを非常に気に入っているという巨匠レオンハルトが二夜にわたりリサイタルを開催、またメンデルスゾーン生誕 200 年を記念した小倉貴久子によるフォルテピアノを中心とした室内楽コンサートも行った。合唱では、毎年恒例の「林光・東混 八月のまつり」が 30 回を迎えた。邦楽器では日本音楽集団による定期演奏会が 2 回。日本音楽集団には、アウトリーチでも「Meet the 和楽器」という企画で協力していただいている。

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 グスタフ・レオンハルト　チェンバロ・リサイタル 第 1 夜	
公演日 開演時間	2009 年 5 月 7 日（木） 19:15 開演	
チケット料金	S¥7,500 、A¥6,500 、B¥5,000 、S ペア・シート ¥14,000、2 公演セット（5/7 と 5/15）¥14,000	
入場者数	614 名／キャパシティ 767 名(80%)	
出演者	グスタフ・レオンハルト（チェンバロ）	
演奏曲	ルイ・クープラン：パヴァーヌ／組曲ニ短調 パッヘルベル：ファンタジアト短調／3つのフーガ J.S.バッハ：組曲ヘ短調 BWV823／ コラール・パルティータ「おお神よ、汝まことなる神よ」BWV767 アルマン＝ルイ・クープラン：ラントレピッド デュフリ：アルマンドとクーラントニ短調	
結果・振り返り	80 歳を超える巨匠によるチェンバロ・リサイタルの第一夜。バッハなど有名作曲家の作品が演奏されたため、レオンハルトファンだけでなく、多くの古楽器ファン、鍵盤楽器ファンが来場し、高い集客率となった。益々円熟味を増す演奏が高い評価を得ている。	
主催	アレグロミュージック、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール	
後援	オランダ王国大使館/㈱マーキュリー/㈱BMG JAPAN	
協力	東京古典楽器センター	

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 グスタフ・レオンハルト　チェンバロ・リサイタル 第 2 夜	
公演日 開演時間	2009 年 5 月 15 日（金） 19:15 開演	
チケット料金	S¥7,500 、A¥6,500 、B¥5,000 、S ペア・シート ¥14,000、2 公演セット（5/7 と 5/15）¥14,000	
入場者数	551 名／キャパシティ 767 名(72%)	
出演者	グスタフ・レオンハルト（チェンバロ）	
演奏曲	ラインケン：トッカータト短調 ベーム：コラール・パルティータ「ただ神の摂理にまかす者」／組曲ハ短調 ダングルベール：組曲ト長調 ケルクホーフェン：ファンタジアホ短調	

	ダングルベール：シャンボニエール氏のトンボー フィッシャー：シャコンヌト長調 ダングルベール：プレリュードニ短調 ドメニコ・スカルラッティ：ソナタ K.3 イ短調／K.185 ヘ短調／K.69 ヘ短調 フォルクレ：マレッラ／ドボンヌ／サンシー／ビュイッソン
結果・振り返り	前週に行われたチェンバロ・リサイタルの第二夜。第一夜に比べて知名度の低い作曲家の作品が並んだが、よりコアなファンが集い、貴重な巨匠の演奏に酔いしれた。 初めて第一生命ホールに来る方も多く、ホールと TAN の活動を PR する良い機会になった。
主催	アレグロミュージック、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール
後援	オランダ王国大使館/㈱マーキュリー/㈱BMG JAPAN
協力	東京古典楽器センター

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 日本音楽集団 第 195 回定期演奏会 ～創立 45 周年記念シリーズ～ 「現代邦楽の黎明～清瀬保二から長澤勝俊へ」	
公演日 開演時間	2009 年 5 月 20 日（水） 19:00 開演	
チケット料金	前売 A¥5,000　B¥4,000　C¥3,000（当日各¥500 増） ヤングシート：25 才以下の方に B、C 席を割安料金で	
入場者数	295 名／キャパシティ 714 名(41%)	
出演者	野坂操寿（二十絃箏）、三橋貴風／水川寿也／加藤秀和（尺八）、日本音楽集団	
演奏曲	清瀬保二：尺八三重奏曲（1964）／日本楽器による八重奏曲（1964） 長澤勝俊：錦木によせて～五つの小品～（1973）／大津絵幻想（1981）	
結果・振り返り	創立 45 周年を迎えた日本音楽集団による定期演奏会。年 4 回の定期演奏会のうち 2 回を共催している。今回は宮田氏や池田逸子氏によるトークなどを盛り込み、作品により親しみを持って鑑賞していただくことが出来た。内容も、日本音楽集団旗揚げ公演で演奏された楽曲や、委嘱初演した箏曲の本人による演奏、大合奏まで様々な作品が揃い、師弟関係にあった 2 人の作曲家の作品を一夜で聴くことによって、現代邦楽の系譜を辿る意義深い公演になった。	
主催	特定非営利活動法人日本音楽集団、 NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール	
助成	平成 21 年度文化庁芸術創造活動重点支援事業	

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 音楽の玉手箱 Vol.6 メンデルスゾーン生誕 200 年 ～音楽の翼をもった妖精～	
公演日 開演時間	2009 年 6 月 22 日（月）19:00 開演 （18:00 開場、18:15 よりプレトークあり）	
チケット料金	全席指定　一般¥4,000、学生¥2,000	
入場者数	249 名／キャパシティ 767 名(33%)	
出演者	小倉貴久子（フォルテピアノ）、桐山建志（ヴァイオリン）、花崎　薫（チェロ）、畑　儀文（テノール）、星野宏美(プレトーク)	
演奏曲	メンデルスゾーン： ピアノとチェロのための無言歌ニ長調 op.109	

	ピアノのための無言歌集より「春の歌」イ長調 op.62-6 ヴァイオリンとピアノのためのシャコンヌニ短調（J.S.バッハ作曲パルティータ第 2 番「シャコンヌ」のメンデルスゾーンによるピアノ伴奏版） 歌の翼に op.34-2／新しい恋 op.19-4／月 op.86-5 ヴェネツィアのゴンドラの歌 op.57-5／厳格なる変奏曲ニ短調 op.54 ピアノ三重奏曲第 1 番ニ短調 op.49
結果･振り返り	メンデルスゾーン生誕 200 年を記念して行ったフォルテピアノを中心とした室内楽演奏会。ソロから三重奏まで多彩な編成で多くの作品を楽しめるプログラムになった。また開演前にはメンデルスゾーンの研究で知られる星野宏美氏によるプレトークも行い、作曲家や作品に理解を深めた上で演奏を聴いていただくことができた。
主催	メヌエット･デア･フリューゲル、NPO 法人トリトン･アーツ･ネットワーク/第一生命ホール

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 林光･東混　八月のまつり 30	
公演日 開演時間	2009 年 8 月 7 日（金） 19:00 開演	
チケット料金	全席自由　一般￥4,000　　学生･シニア￥3,000	
入場者数	453 名／キャパシティ 714 名(63%)	
出演者	林光(指揮)、寺嶋陸也（ピアノ）、東京混声合唱団、古賀満平(照明)	
演奏曲	林光：原爆小景（原民喜　詩） 水ヲ下サイ（1958)/ 日ノ暮レチカク（1971)/ 夜（1971)/ 永遠のみどり（2001） 林光：谷川俊太郎小詩集 「雨よ降れ」、「ひとりぼっちの裸のこども（湯浅譲二　曲）」、「歩くうた」、「死んだ男の残したものは（武満徹　曲）」 佐藤信小詩集 「すたこら階段」、「動物園」、「WHY？WHY？」、「ねがい」 林光編曲による　日本抒情歌曲集より「野の羊（服部正）」、「曼珠沙華（山田耕筰）」	
結果･振り返り	毎年 8 月に「原爆小景」を歌う林光氏のライフワーク「八月のまつり」。30 回という節目を迎え、今年も「原爆投下という非人道的な行為を決して忘れない」という林光氏の思いをステージと客席皆で共有した。アンコールは恒例の「星めぐりのうた」。最後にホール全体が暗転になり美しい星空が浮かぶと客席からは溜息がもれ、音楽の持つシリアスな面と人を喜ばせ楽しませる面の両方を味わえる一夜となった。	
主催	財団法人合唱音楽振興会、NPO 法人トリトン･アーツ･ネットワーク／第一生命ホール	
助成	平成 21 年度文化庁芸術創造活動特別推進事業	

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 日本音楽集団 第 197 回定期演奏会 ～創立 45 周年記念シリーズ～「秋によせる」	
公演日 開演時間	2009 年 11 月 18 日（水） 19:00 開演	
チケット料金	前売 A¥5,000　B¥4,000　C¥3,000（当日各¥500 増） ヤングシート：25 才以下の方に B、C 席を割安料金で	
入場者数	295 名／キャパシティ 714 名(41 %)	
出演者	和田　薫（客演　指揮）、日本音楽集団	
演奏曲	松下功：秋の舞Ⅱ（1989）	

	中村典子：クリタ～二面の箏のための（1998） 三宅一徳：星月夜（ほしづくよ）（2000） 和田薫：「秋夢譚」*委嘱初演 伊福部昭（和田薫編曲）：日本音楽集団版　日本狂詩曲
結果・振り返り	「秋に寄せる」と題した 197 回目の定期演奏家では、前半は委嘱作品の初演や奏者が客席から登場する演出など、意欲的な内容となった。後半の伊福部昭の作品では、日本音楽集団ならではの大編成による邦楽器合奏を披露した。集客率は高くはないが若い層のお客様も多く見受けられ、当公演が邦楽界の発展に寄与している様子が伺える。
主催	特定非営利活動法人日本音楽集団、 NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール
助成	平成 21 年度文化芸術進行費補助金、財団法人ロームミュージックファンデーション

公演名	〈TAN's Amici Concert〉 第 8 回ビバホールチェロコンクール第 1 位受賞記念 加藤文枝　チェロリサイタル	
公演日 開演時間	2010 年 2 月 28 日（日） 14:00 開演	
チケット料金	全席自由　一般￥2,500（当日￥3,000）　ペア券￥4,000（前売のみ）　学生券￥1,500	
入場者数	287 名／キャパシティ 767 名(37%)	
出演者	加藤文枝（チェロ）、入川舜（ピアノ）	
演奏曲	ドビュッシー：チェロ・ソナタ デュティユー：ザッハーの名による3つのストローフェ シューマン：幻想小曲集 op.73 ラフマニノフ：チェロ・ソナタト短調 op.19	
結果・振り返り	兵庫県養父市で行われる国際チェロコンクールの優勝者による受賞記念コンサートの東京公演。若い演奏家を「育てる」というミッションを担う企画として共催している。当日は東京実行委員と養父市からの実行委員が集まり受付等を担当、ロビーでは旧友との再会を喜ぶ姿が多く見られた。 加藤文枝さんの瑞々しい演奏は評価も高く、これからの活躍が期待される。	
主催	兵庫県養父市、ビバホールチェロコンクール実行委員会、チェロリサイタル東京実行委員会、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール	
後援	日本チェロ協会	

3. コミュニティ事業

2009 年度のコミュニティ事業は、「広める」「創る」「育てる」のミッションに従い（1）アウトリーチ（2）ハロー！コンサート（3）レクチャーコンサート（4）晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート（5）弦楽器体験ワークショップ（6）その他、の6つの活動に分け 46 回実施をした。

（1）アウトリーチ	広める
自らの意志ではコンサートホールへ足を運ぶことの出来ない方にも、生の音楽を聴くことの楽しさや喜びを知ってもらいたいという思いで、主に教育施設、高齢者・福祉施設、医療機関の各施設に出向きコンサートや楽器体験などを行った。	
４年生はじめてのクラシック （中央区文化・国際交流振興協会助成） 主に、東京都中央区立小学校の4年生を対象に音楽室で実施。演奏は第一生命ホールの主催・共催公演に出演するアーティストへ依頼し、ホール公演と同じ質を保つことを心がけている。1校1校、出演者やプログラムについて音楽教諭と話し合い、吹奏楽に重点を置いている学校では金管アンサンブルを、邦楽に重点を置いている学校では邦楽アンサンブルをなど、より各学校の特性に合ったアウトリーチを行えるよう配慮している。2009年度は11小学校、564名の児童が参加した。	
アーティスト・イン・レジデンス （JPモルガン証券協賛） アーティストがある地区に滞在して、その地区で生活する人々のためにアート活動を行うアーティスト・イン・レジデンス。2009年度はストリング・クァルテット・ウィークエンド（SQW）フェスタで来日したスイスの「カルミナ四重奏団」が日本橋小学校4年生、レインボーハウス明石（中央区立知的障害者生活支援施設）利用者、明石小学校すぎのこ学級を対象に3回のアウトリーチを行った。 耳にしたことのない弦楽四重奏の曲でも、真剣に耳を傾け聴いている姿が印象的であった。カルミナ四重奏団は長い演奏家としてのキャリアの中でも、アウトリーチは初めての取り組みで、目の前の聴き手の様子や反応に感銘を受けていた。	
Ｍｅｅｔ　ｔｈｅ　和楽器 （日本財団助成） 毎年第一生命ホールにて定期演奏会を行い、コミュニティ活動にも積極的に関わっている日本音楽集団との共同プロジェクト「Meet the 和楽器」は2009年度より“箏の体験”をメインにし小学4年生を対象に2校で実施をした。1日目はイラストに自由に音楽を付ける“音作り”、2日目はかえるの歌の練習、3日目は日本音楽集団（7名編成）のコンサート鑑賞という3日間のプログラムとなっている。児童一人に対して箏を一面用意することによって、楽器にじっくりと取り組めるよう配慮している。体験をしてから音楽を聴くことによって、プロの演奏家の動きを注意深く見ることができ、それによって自然と音楽を聴く姿勢となる。体験をした児童達は、他の邦楽器にも興味を示したりするなど邦楽に対して充分に興味関心を養うことができた。	

保育園・幼稚園でのアウトリーチ 演奏やトークに対して反応がダイレクトに返ってくる未就学児童向けアウトリーチは、アドヴェントセミナー修了の若手演奏家のアウトリーチ経験の場としている。年齢別に短時間のアウトリーチを数回行うことによって、その場でトークや立ち居振る舞いの改善を図ることができ、演奏者のスキルアップにもつながっている。 園児たちは聴いたことのないクラシックの曲でも、とくにテンポの速い曲やヴァイオリンの様々な奏法が出てくるなど視覚的に動きのあるものに興味を示していた。	
地域との協力アウトリーチ 地域の市民団体との協同アウトリーチを2009年度は3回実施した。 4月の「桜、桜、桜が咲いた出前音楽会 in 晴海」は築島散歩の会との共催で第8回目を迎えた。お花見と音楽会が合わさり、近隣の特別養護老人ホームの方々やボランティアの方など毎年楽しみにしていただいている。 築地児童館での小学生と近隣在住の60歳以上の方が音楽を通して交流を図る、異世代交流企画「ふれあい音楽広場」は民生委員の方にご年輩の方への参加を呼びかけていただいた。また、この企画はサポーターが新規に立ち上げ、企画から実施までを行った。 また、中央区の傾聴ボランティア「うさぎの会」と協力し、高齢者のための複合型介護施設「相生の里」で“相手に伝わる歌い方”をテーマにセミナーとアウトリーチを組み合わせた新企画に取り組んだ。 地域のボランティア団体と協力して、より地域のニーズに合った活動を行うことができた。	
第一生命保険　マッチングギフトを使ったアウトリーチ 第一生命が支社や部ごとに行う地域社会貢献活動(ボランティア活動)のひとつとして、各支社および部のコーディネートにより TAN がアウトリーチを提供している。2009年度は、2年目となる保険金部に加え、団体保障事業部、人事部、大井事業所が実施した。各部それぞれがオフィスを構える地域の施設(特別養護老人ホーム、特別支援学校、障がい者団体)に「音楽の贈り物(アウトリーチ)」を届け、生演奏にふれる機会の少ない皆さまに 1 時間程度のコンサートを楽しんでいただいた。大井事業所および保険金部のアウトリーチへの取り組みに対して、第一生命内での社会貢献活動表彰のボランティア特別賞を受賞した。	

(2)ハロー！コンサート	広める
「ハロー！」という名の通り、対象が限定されるアウトリーチから一歩踏み出し、「こんにちは！トリトン・アーツ・ネットワークです」と地域にご挨拶する、ホールと開かれたコミュニティとをつなぐ役割を担う企画。 今年度はトリトンスクエアのグランドロビーで行われた「中央区まるごとミュージアム」に参加、新しくホール近隣に出来た中央区豊海地区のマンションでの敬老祝賀コンサート、芝浦工業大学豊洲キャンパスでの地域の方向けお話付きミニコンサート、日本橋小 PTA をはじめとする地区の有志との共催による「日本橋地区気軽にク	

ラシック」を実施した。どのコンサートも地域にお住いの皆さまが多く集まり、配布したTAN かわら版を片手に本格的な生演奏に耳を傾けた。	

（３） レクチャーコンサート	創る
弦楽四重奏という演奏形態の周知、その豊かな芸術性への理解を深めるために2回のレクチャーコンサートを実施。 古典四重奏団は自身の演奏会で取り上げるショスタコーヴィチ作品の演奏を交えて、演奏家自らが、分かりやすい表現、例えなどを多用し解説をおこなった。 一方、クァルテット・エクセルシオのレクチャーコンサートは、作曲家　西村朗を迎えて行い、難解と思われがちな現代音楽を作曲家自身が解説し、50名ほどの来場者との活発な質疑応答がなされ、ケチャなどの民族音楽を取り入れた作品を楽しんだ。	

（４） 晴海トリトンスクエア　グランドロビーコンサート （晴海トリトンスクエア協賛）	広める・創る
2010年1月より晴海トリトンスクエアのグランドロビーにて定期的にコンサートを開催し、お昼休みのひととき憩いの場としてトリトンスクエア勤務者及び近隣地区在住者に音楽を楽しんでいただくことを目的に始まった。サポーターが企画段階から関わり運営を行っている。	

（５） 弦楽器体験ワークショップ （子どもゆめ基金助成）	広める・育てる
第一生命ホール近隣の勝どき児童館、佃児童館、月島児童館と協力し「かんたん？むずかしい？弾いてみた～い！弦楽器」を実施した。JPモルガン証券寄贈の分数楽器を活用し、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの体験を小学生を対象に行った。 未知の楽器への興味・関心を養うと共に、クラシック音楽を身近に感じてもらうことを目的としている。 演奏及び指導はアドヴェントセミナー修了の若手演奏家に依頼している。	 大窪道治

（６） その他	広める・創る・育てる

① 室内楽ロビーコンサート

アドヴェントセミナーの成果を発表する場として、第一生命ホールのロビーにおいて室内楽ロビーコンサートを行った。芸術性の向上を目的とし、講師と受講生がグループを組む事により、受講生にとっては貴重な体験となった。また、来場者はトリトンスクエア内勤務者、近隣住民のみならず、遠方からの熱心な室内楽ファンや小さなお子さま連れの来場者も少なくなかった。

② コミュニティイベント コミュニティイベントの活動として、月島草市と中央区健康福祉まつりに参加し「リズム遊び」を実施、また、芝浦工業大学豊洲キャンパス「大学開放DAY」では弦楽器体験を実施した。
③ サンキューコンサート TAN の活動を支えている第一生命保険の社屋で、日ごろの支援に対する感謝の気持ちを込めて社員向けのロビーコンサートを定期的に実施している。2009年度は日比谷本社ロビーでランチタイムコンサートを 2 回、大井事業所ではアウトリーチと同日開催でランチタイムコンサートを1回実施。お昼休みのひと時にトーク付きの生演奏を提供した。 また、設立 10 周年を迎えた第一生命のグループ会社である第一生命情報システムでは、記念事業として社員で構成されたワーキンググループと共にコンサートを企画。仕事を終えた人々が帰宅前のひと時いつもの食堂に集い、温かい雰囲気の中、弦楽四重奏の演奏を楽しんだ。

2009 年度実績概要

１） ＴＡＮ主催：46 回

２）対象施設の内訳実施回数

保育園・幼稚園	3	病院	0
小学校	15	福祉関係施設	5
特別支援学級	2	児童館	4
中学校・高校	0	マンション	1
大学	3	その他	13

３）実施地域の内訳

中央区日本橋地区（人形町、浜町、八重洲）	7
中央区京橋地区（銀座、明石、築地、新川）	7
中央区月島地区（勝どき、晴海、豊海、佃）	19
中央区外	13

4. 文化ボランティア拠点づくり事業

2001 年より中央区在住・在勤者や音楽愛好家を中心とするボランティア（ＴＡＮサポーター）の組織化と支援を目的とした活動を行っている。

ＴＡＮのミッションに賛同してサポーター活動への参加を希望する人は、登録手続きをすることによって活動に参加できる。現在近隣住民、音楽ファンを中心に 70 人ほどが登録し、それぞれの都合に合わせて活動を行っている。

2009 年度の主な活動は次の６つに分けられる。

① 第一生命ホール主催・共催公演のスタッフサポート

ホールに来場のお客様に気持ちよく過ごしていただくために、スタッフと一緒にチラシの挟み込み作業、パンフレット配布、花束受付、アンケート回収などを行う。

② コミュニティ活動のスタッフサポート

コミュニティ活動先で会場設営や写真・ビデオの撮影、鑑賞レポート作成などを行う。また、当日のサポートだけでなくスタッフと一緒にアウトリーチの新規企画も検討し実行した。

③ 第一生命ホールオープンハウスの企画・運営

７月２５日、第一生命ホールオープンハウス 2009～目指せ！トリトン音楽探偵～を実施した。サポーター統括を中心にステージでのコンサート、バックステージツアー、弦楽器体験、手作り体験、影アナウンス体験などの各班に分かれて半年前から準備を進め、当日は 95 名のサポーターが参加し、延べ 969 名の入場者を動員した。

来場者は未就学児や小学校低学年の親子が最も多く、近年子どもが増加している中央区のニーズに合ったオープンハウスを行うことができた。

④ 育児支援コンサートの子どもの音楽スタジオ準備・運営

３月２８日、育児支援コンサートを実施した。昨年に引続き、第一部「子どもの音楽スタジオ」での子どもの受け入れと音楽スタジオのサポートを行った。４つのスタジオごとにサポーターチーフを決め、アーティストとの打ち合わせや準備を行い、当日は 58 名のサポーターが参加した。お子さんを預かることによって、親御さんたちにホールでゆっくりと音楽を楽しむ機会を提供することができた。

⑤ トリトンスクエアロビーコンサートの企画・運営

2009 年度より晴海トリトンスクエアの協賛による、晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサートを定期的に開催。サポーターが実行委員会を組織し、出演者の選定やチラシの作成及び配布、当日の運営などを行っている。

⑥ 事務のサポート

事務所内でのチラシの挟み込みやダイレクトメール発送、ＴＡＮかわら版発送、アンケート集計作業などを行う。

また、毎年 12 月に開催のアドヴェントセミナー「クリスマスコンサート」に日頃の活動への感謝を込めてサポーターを招待し、終演後は演奏家、サポーター、ＴＡＮスタッフ合同の懇親会を実施し交流を深めた。

文化庁委託文化ボランティア支援拠点形成事業
「文化ボランティア・コーディネーター講座」の実施

コミュニティ活動の回数に対する職員のマンパワーの問題や地域との密な連携などをサポーターの人脈や様々な人の視点を通して解決していくことを目的に、文化庁委託による文化ボランティア支援拠点形成事業として「文化ボランティア・コーディネーター講座」をＴＡＮサポーター及び公募で募ったボランティアの方々を対象に９月から１月にかけて実施した。外部講師による講座や実地研修を含めた全８回の講座に８名（内、ＴＡＮサポーター４名）が参加、聴講のみは延べ 18 名が参加した。講座終了後に新規サポーターとなった方が３名いた。

成果物として講座の活動内容および TAN のコミュニティ活動のノウハウ、外部専門家によるプログラム開発委員会の検討結果等を冊子にまとめて、今後文化ボランティア活動する方の参考にしてもらう仕立てとした。

今後も継続的にＴＡＮのコミュニティ活動にコーディネーターとして関わっていきたいという声も多く聞かれ、目的達成のための第一歩として有意義な講座を実施することができた。

5. 評価事業

2008年度評価より第3次評価委員メンバーが開始され、公益活動を担う組織や音楽業界、活動地域の中央区を代表する方々に参加いただいている。評価の場面では評価の側面はもちろんのこと、TANの活動に資する質問や建設的な意見、アドバイスが数多く出され、TANの業務計画等、経営面に取り入れることが多々あった。

2009年度評価は2010年4月16日と2010年5月14日に評価委員会を実施した。（評価結果については、「2009年度評価事業書」に記載）また評価委員会に先立ち、第1回評価委員会を2010年1月29日実施し、TANの自己評価と外部評価のあり方について意見交換を行い評価委員会の今後の進め方の検討がなされた。方向性としては自己評価と外部評価は原則同じ評価フォームとすることとした。第2回評価委員会では、2009年度の振返りを全体像から各論まで詳細を報告した。評価の方法はTANの自己評価に対する評価コメントに加え、ミッションに沿った形で活動が実行出来ているかとの視点で評価をいただくこととなり、その評価を2011年度TAN10周年に向けた経営計画の参考にしたいと考える。

Ⅳ. 事業実施に関する事項

1.運営に関する事項

(1) 総会

・通常総会　　2009 年 6 月 25 日

第 1 号議案 2008 年度事業報告及び収支決算承認の件、第 2 号議案定款変更の件、第 3 号議案役員選任の件が、審議され全員異議なくこれを承認した。

(2) 理事会

・第 36 回　2009 年 5 月 28 日

審議事項として、第 1 号議案 2008 年度事業報告の件及び 2009 年度予算、第 2 号議案定款変更の件、第 3 号議案役員選任の件が審議され、全員異議なくこれを承認した。理事選任では 1 名退任 2 名就任し、1 名の増員となった。

・第 37 回　2009 年 9 月 3 日

審議事項なし、報告事項のみ。

・第 38 回　2009 年 12 月 3 日

審議事項なし、報告事項のみ。

・第 39 回　2010 年 2 月 25 日

審議事項として第 1 号議案 2010 年度予算（暫定版）の件が審議され、全員異議なくこれを承認した。

(3) 運営会議

2009 年 4 月 24 日から 2010 年 3 月 25 日まで 11 回にわたり開催した。
主に、トリトン・アーツ・ネットワークの運営に関わる諸事項・諸課題および第一生命保険社会貢献活動との連携について検討した。

(4) 専門部会

企画分科会を 2009 年 4 月 10 日から 2009 年 3 月 19 日までの 11 回開催し、コンサート･コミュニティ事業の企画および事業の振返りを PDCA サイクルに沿って検討し、次回実施への課題を明確化するとともにスタッフ間の情報共有を図った。

2. 活動に関する事項

（1） 特定非営利活動に係わる事業

① 2009 年度自主企画公演事業（第一生命ホール）

	公演日		シリーズ	公演名	受益対象者	ボランティア
1	2009年4月12日	（日）	SQW#79	エルデーディ弦楽四重奏団～ハイドン没後200年を記念して2～	211	2
2	2009年5月7日	（木）	TAN's Amici	レオンハルト1	614	2
3	2009年5月15日	（金）	TAN's Amici	レオンハルト2	551	3
4	2009年5月20日	（水）	TAN's Amici	日本音楽集団定期演奏会	295	3
5	2009年5月27日	（水）	ライフサイクルコンサート#38	クラシックはじめのいっぽ Vol. 13 ソプラノ（森麻季）	695	3
6	2009年6月6日	（土）	SQW#80	カルミナ四重奏団～伝統を受け継ぐ者～	464	2
7	2009年6月7日	（日）	SQW#81	カルミナ四重奏団～新たな地平を拓く者～	357	3
8	2009年6月12日	（金）	SQW#82	カルミナ四重奏団～世界をつなぐ者～	383	4
9	2009年6月13日	（土）	SQW#83	カルミナ四重奏団～挑戦する者～	337	4
10	2009年6月14日	（日）	SQW#84	ベネヴィッツ・クァルテット	220	4
11	2009年6月22日	（月）	TAN's Amici	小倉貴久子～メンデルスゾーン生誕200年記念～	249	3
12	2009年6月30日	（火）	ライフサイクルコンサート#39	クラシックはじめのいっぽ Vol. 14 ヴァイオリン（川畠成道）	644	4
―	2009年7月25日	（土）		オープンハウス2009	969	95
13	2009年7月30日	（木）	ライフサイクルコンサート#40	クラシックはじめのいっぽ Vol. 15 バリトン（宮本益光）	368	5
14	2009年8月7日	（金）	TAN's Amici	林光・東混 八月のまつり30	453	1
15	2009年8月25日	（火）	ライフサイクルコンサート#41	クラシックはじめのいっぽ Vol. 16 ピアノ（仲道郁代）	690	4
16	2009年9月10日	（木）	ライフサイクルコンサート#42	630コンサート トロンボーン（中川英二郎）	514	4
17	2009年10月3日	（土）	SQW#85	古典四重奏団～ショスタコーヴィチ・チクルスvol.2-1～	191	5
18	2009年10月18日	（日）	SQW#86	プレアデス・ストリング・クァルテット～ベートーヴェン全曲演奏会第6回～	280	5
19	2009年10月22日	（木）	ライフサイクルコンサート#43	クラシックはじめのいっぽ Vol. 17 ヴァイオリン（安永徹）	387	2
20	2009年11月3日	（火）	SQW#87	古典四重奏団～ショスタコーヴィチ・チクルスvol.2-2～	232	5
21	2009年11月18日	（水）	TAN's Amici	日本音楽集団定期演奏会	397	3
22	2009年11月19日	（木）	ライフサイクルコンサート#44	クラシックはじめのいっぽ Vol. 18 ギター（大萩康司）	436	5
23	2009年11月29日	（日）	ライフサイクルコンサート#45	ふたりでコンサートⅥ	548	4
24	2009年12月6日	（日）	SQW#88	エルデーディ弦楽四重奏団～メンデルスゾーン生誕200年記念～	269	1
―				アドヴェントセミナー	25	10
25	2009年12月23日	（水）	特別	子どものためのコンサート	505	4
26	2009年12月23日	（水）	特別	クリスマスコンサート2009	313	0
27	2010年1月23日	（土）		ニューイヤー・ガラ・コンサート	635	2
28	2010年2月4日	（木）	ライフサイクルコンサート＃46	630コンサート ピアノ（横山幸雄）、ヴァイオリン（矢部達哉）	644	5
29	2010年2月6日	（土）	SQW#89	クァルテット・エクセルシオ～ラボ・エクセルシオ 世界と日本の作曲家第3回～	185	1
30	2010年2月10日	（水）	ライフサイクルコンサート＃47	クラシックはじめのいっぽ Vol. 19 チェロ（石坂団十郎）	340	2
31	2010年2月28日	（日）	TAN's Amici	養父チェロ	287	3
32	2010年3月13日	（土）	SQW#90	カントゥス・クァルテット	618	3
33	2010年3月18日	（木）	ライフサイクルコンサート#48	クラシックはじめのいっぽ Vol. 20 ピアノ（清水和音）	597	4
34	2010年3月28日	（日）	ライフサイクルコンサート#49	育児支援コンサート	592	58
				合計	15495	268

支出額（千円）	53151

② 2009 年度コミュニティ事業

No.	区分	実施日		実施時間	事業名	実施先	出演者	実施場所	受益者	受益人数	ボランティア人数
1	アウトリーチ	2009 年 4 月 4 日	土	13:00～14:00	第8回桜・桜・桜が咲いた出前音楽会 in 晴海	築島散歩の会	川畠成道（Vn）九頭見香穂里（Pf）	アートはるみ	マイホームはるみ、晴海苑入所者、身障者、介護者など	130	6
2	アウトリーチ	2009 年 5 月 16 日	土	14:20～15:00	中央区母子寡婦連合会総会コンサート	中央区母子寡婦連合会	日本音楽集団／杵家七三（三味線）、竹井誠（尺八）、山田明美（箏）	中央区役所8階	中央区母子・寡婦連合会会員	70	1
3	アウトリーチ	2009 年 6 月 9 日	火	3・4時間目	4年生はじめてのクラシック	日本橋小学校	カルミナ弦楽四重奏団	日本橋小学校	4年生（2クラス）	54	0
4	アウトリーチ	2009 年 6 月 10 日	水	14:00～15:00		レインボーハウス明石	カルミナ弦楽四重奏団	レインボーハウス明石	入所者	60	3
5	アウトリーチ	2009 年 6 月 11 日	木	3時間目	小学校アウトリーチ	明石小すぎのこ学級	カルミナ弦楽四重奏団	明石小学校	すぎのこ学級11人、先生方	20	2
6	ロビーコンサート	2009 年 6 月 15 日	月	12:15～12:50	第一生命ロビーコンサート	第一生命	ベネヴィッツ弦楽四重奏団	第一生命日比谷本社ロビー	第一生命職員、一般の方	80	6
7	アウトリーチ	2009 年 6 月 22 日	月	10:50～11:50	4年生はじめてのクラシック	常磐小学校	バズ・ファイブ（金管五重奏）	常磐小音楽室	4年生、5年生	42	1
8	ワークショップ	2009 年 6 月 23 日	火	15:20～16:20	弦楽器体験ワークショップ	月三プレディ	皆川櫻子（Vn）、浅井久美子（Va）、海老澤洋三（Vc）	月島第三小2階プレディ室	プレディ利用児童	80	4
9	アウトリーチ	2009 年 7 月 1 日, 7 月 8 日,7 月 15 日	水	午前	Meet the 和楽器	月島第一小学校	日本音楽集団	月島第一小体育館、音楽室	4年生	34	3
10	サンキュー	2009 年 7 月 3 日	金	17:30～18:30	第一生命情報システム ロビーコンサート	第一生命情報システム	クァルテット・エクセルシオ	第一生命情報システム食堂	第一生命情報システム社員	100	1
11	アウトリーチ	2009 年 7 月 13 日	月	10:45～11:30	4年生はじめてのクラシック	京橋築地小学校	菅家奈津子（M-Sop）、御園生瞳（Pf）	京橋築地小学校	4年生（2クラス）合同	64	1
12	アウトリーチ	2009 年 7 月 14 日	火	10:45～12:20	4年生はじめてのクラシック	月島第三小学校	浜まゆみ（Perc.）、田村緑（Pf）	月島第三小音楽室	4年生（2クラス）別々	66	3
13	アウトリーチ	2009 年 7 月 16 日	木	3、4時間目	4年生はじめてのクラシック	月島第二小学校	中川英二郎（Trb）、ほか	月島第二小音楽室	4年生（2クラス）合同	48	1
14	レクチャー	2009 年 8 月 29 日	土	15:00～17:00	レクチャーコンサート plus#12	TAN	古典四重奏団	トリトンスクエアX棟5階会議室2	一般来場者	52	4
15	ワークショップ	2009 年 9 月 15 日	火	15:00～16:00	かんたん？むずかしい？弾いてみた～い！弦楽器	月島児童館	アドヴェントセミナー出身者	月島児童館	児童利用の小学生	45	2
16	ハロー！コンサート	2009 年 9 月 23 日	水	10:30～11:30	敬老祝賀コンサート	TheTokyoTowers マンション	クァルテット・エクセルシオ	TTT シータワーロビー	マンション住民	100	1
17	アウトリーチ	2009 年 10 月 2 日	金	13:20～15:00	幼稚園アウトリーチ	月島幼稚園	野村えり子（Vn）、ほか	月島幼稚園遊戯室	園児	162	0
18	ハロー！コンサート	2009 年 10 月 17 日	土	14:00～15:00	コミュニティコンサート	TAN／芝浦工業大学	クラリネット四重奏	芝工大豊洲キャンパステクノプラザ	一般来場者	50	8
19	ハロー！コンサート	2009 年 11 月 1 日	日	13:20～13:50	まるごとマリンバコンサート	中央区まるごとミュージアム	浜まゆみ、張愛鈴（マリンバ）	トリトンスクエアグランドロビー特設ステージ	一般来場者	150	2
20	サンキュー＆MGP	2009 年 11 月 24 日	火	ロビコン 12:15～12:50 アウトリーチ 14:00～15:00	ランチタイムロビーコンサート 大井町相和小アウトリーチ	第一生命大井本社	バズ・ファイブ（金管五重奏）	第一生命大井本社ロビーほか	ロビコン第一生命、第一生命情報システム社員 75 名 アウトリーチ相和小学校4－6年生 50 名	125	0
21	ロビーコンサート	2009 年 12 月 8 日	火	12:15～12:50	第一生命ロビーコンサート	第一生命	松原勝也、竹内弦、麻柄明日香、海老澤洋三（弦楽四重奏）	第一生命日比谷本社ロビー	第一生命職員、一般の方	114	5
22	ワークショップ	2009 年 12 月 12 日	土	午前の部 11:00～11:45 午後の部 13:30～14:30	かんたん？むずかしい？弾いてみた～い！弦楽器	佃児童館	アドヴェントセミナー出身者 立上舞、向山有輝、竹花加奈子ほか	佃児童館3階遊戯室	午前の部 乳幼児親子 午後の部 小学生とその親	60	2
23	アウトリーチ	2009 年 12 月 21 日	月	13:45～14:45	4年生はじめてのクラシック	佃島小学校	クァルテット・エクセルシオ	佃島小プレイルーム	4年生	90	2
24	アウトリーチ	2010 年 1 月 8 日	金	14:30～16:00	小学生と高齢者の交流企画	築地児童館	田村緑（ピアノ）	築地児童館2階遊戯室	3，4年生 近隣在住高齢者 各15名	30	3
25	ロビーコンサート	2010 年 1 月 15 日	金	12:10～12:50	晴海トリトンスクエアグランドロビーコンサート	TAN/晴海コーポレーション	日本音楽集団7名編成	トリトンスクエアグランドロビー	トリトンスクエア勤務者、近隣在住者	100	18
26	アウトリーチ	2010 年 1 月 19 日	火	14:00～15:00	4年生はじめてのクラシック	久松小学校	中川英二郎、ほか	久松小体育館	4 年生	88	1
27	アウトリーチ	2010 年 1 月 25 日	月	2回	江東区文化教養学園アウトリーチ	文化教養学園	クァルテット・エクセルシオ	文化教養学園幼稚園	園児	135	1
28	レクチャー	2010 年 1 月 26 日	火	19:00～20:30	レクチャーコンサート plus#13	TAN／芝浦工業大学	クァルテット・エクセルシオ、西村朗	芝工大豊洲キャンパステクノプラザ	一般来場者	53	4

No.	区分	実施日		実施時間	事業名	実施先	出演者	実施場所	受益者	受益人数	ボランティア人数
29	アウトリーチ	2010 年 1 月 27 日	水	10:45～11:25	4年生はじめてのクラシック	城東小学校	バズ・ファイブ（金管五重奏）	城東小音楽室	4年生、5年生	16	0
30	アウトリーチ	2010 年 1 月 31 日	日	14:00～15:00	第一生命人事部企画	NPO未来空間ぽむぽむ	日本音楽集団	葛飾区市民活動支援センター	成人知的障害者、支援団体	40	0
31	アウトリーチ	2010 年 2 月 8 日	月	10:45～11:30	4・5年生はじめてのクラシック	阪本小学校	カントゥス・クァルテット	阪本小音楽室	4，5年生	35	2
32	アウトリーチ	2010 年 2 月 12 日 2 月 15 日	金 月	9:35～11:25 11:30～14:15	Meet the 和楽器	中央小学校	日本音楽集団	中央小音楽室・講堂	12日4年生 15日4年生、他	17	1
33	ワークショップ	2010 年 2 月 17 日	水	14:00～14:50 15:30～16:30	かんたん？むずかしい？弾いてみた～い！弦楽器	勝どき児童館	渡辺彩／向山有輝（ヴァイオリン）、麻柄明日香（ヴィオラ）、海老澤洋三（チェロ）	勝どき児童館遊戯室	①未就学児親子 15 組 ②小学生 25 名	55	1
34	アウトリーチ	2010 年 2 月 19 日	金	10:00～11:40	幼稚園アウトリーチ	晴海幼稚園	小関妙（ヴァイオリン）、小澤佳永（ピアノ）	晴海幼稚園遊戯室	年少～年長	120	3
35	アウトリーチ	2010 年 2 月 21 日	日	13:30～15:30	アウトリーチ	相生の里（老人ホーム）	菅家奈津子（M-Sop）、御園生瞳（Pf）	相生の里8階	入所者 うさぎの会傾聴ボランティア	90	2
36	アウトリーチ	2010 年 2 月 24 日	水	11:30～12:15 13:40～14:20	4年生はじめてのクラシック	豊海小学校	菅家奈津子（M-Sop）、御園生瞳（Pf）	豊海小音楽室	4年生（2クラス）	66	3
37	アウトリーチ	2010 年 3 月 5 日	金	11:40～12:20	介護家族のための音楽会	中央区社会福祉協議会	松岡みやび（ハープ）	ロイヤルパークホテル	中央区で在宅介護をされている方	60	1
38	ハロー！コンサート	2010 年 3 月 10 日	水	13:40～14:40 16:00～17:00	日本橋地区気軽にクラシック	TAN／日本橋小PTA	揚原祥子（ピアノ）	日本橋小ランチルーム	①6 年生 70 名②近隣在住者 70 名	140	4

＜協力企画＞

1	協力	2009 年 7 月 11 日	土	14:20～15:00	愛媛大学東京章光会第45回記念総会コンサート	東京章光会	中川直子／和田歌子（Vn）、瀧本麻衣子（Va）、人見遼（Vc）	産経ホール	東京章光会会員	130	0
2	協力	2010 年 1 月 19 日	火	16：00～16：40	メセナ協議会新年賀詞交換会	メセナ協議会	松原勝也、早川さくら、麻柄明日香、海老澤洋三（弦楽四重奏）	第一生命ホール	メセナ協議会会員会社	70	0

＜その他＞

1	コミュニティイベント	2009 年 7 月 13 日 ～7 月 15 日	月～水	14:00 ～ 20:00	月島草市	月島商友会		月島西仲通り	中央区在住者	300	8
2	コミュニティイベント	2009 年 9 月 27 日	日	10:00 ～ 16:00	芝浦工業大学大学開放 DAY	芝浦工業大学		芝工大豊洲キャンパス	大学開放 DAY 来場者	80	4
3	コミュニティイベント	2009 年 10 月 25 日	日	10:00 ～ 15:00	中央区健康福祉まつり	中央区福祉部		あかつき公園	中央区在住者	150	0

＜マッチングギフトプログラム＞

1	マッチングギフトプログラム	2009 年 10 月 27 日	火	13:30～14:30	第一生命音楽の贈り物	第一生命保険金部	鈴木理恵子（Vn）、吉田まどか（Pf）	湘南老人ホーム	入所者、デイサービス利用者	65	0
2	マッチングギフトプログラム	2009 年 11 月 24 日	火	アウトリーチ 14:15～15:00	大井町相和小アウトリーチ	第一生命大井本社	バズ・ファイブ（金管五重奏）	大井本社内会議室	相和小学校 4-6 年生	上記No20参照	0
3	マッチングギフトプログラム	2010年1月15日	金	11:00～12:00	横浜国立大学附属特別支援学校	第一生命団体保障事業部	浜まゆみ、張愛妗（マリンバ）	横国大特別支援学校集会室	横浜国大附属特別支援学校小・中等部	42	0
									合計	3678	114

支出額（千円）	6098

③ 文化ボランティア拠点事業、評価事業その他

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数※（）内サポーター数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
文化ボランティア拠点づくり事業（サポーター）	特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク全般の運営、実施にあたる文化ボランティアの組織化と支援	随時	TAN諸事業の実施場所	69	中央区及び周辺地域在住在学・在勤者TAN支援者等	822
評価事業（評価システム）	事業評価システム（特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワークの事業全般を客観的に評価、常時活性化）	随時	TAN諸事業の実施場所	12	同上	849
（業務委託料）						10,231
（外注印刷費）						1,066
（広告宣伝費）						6,608
（ホームページ）						1,127
（通信費）						830
（社用外出費）						37
事業費合計						80,822

Ⅴ．運営に関する事項

第一生命保険相互会社メセナ大賞受賞（TAN 支援）

メセナアワード 2009　メセナ大賞部門

大賞受賞　第一生命保険相互会社

第一生命ホールを拠点とした NPO トリトン・アーツ・ネットワークの音楽活動への支援

【評価理由】

戦後の東京で、舞台芸術の拠点となった旧・第一生命ホールは、1989 年、日比谷の本社改築のため多くのファンに惜しまれつつ閉鎖となる。その後、同社創立 100 周年を迎える 2001 年、晴海のトリトンスクエアに 767 席の音楽専用ホールとして、新たな「第一生命ホール」が再建された。

ホール運営については、同社の社会貢献活動の取組方針に基づき、約 50 名のワーキンググループで検討された。結果、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク（TAN）を設立して、コンサート企画や地域での音楽活動を展開していくという、民間ホールとして初の試みがスタートすることとなる。

TAN は、そのミッションにクラシック音楽を「広める・創る・育てる」を掲げ、ホール・コミュニティ・サポーター・評価の 4 事業に取り組む。晴海周辺は、子育て世代の家族や定年退職者が移り住み、企業移転により昼間人口が増加している。TAN はそうした地域の状況にあわせ、「育児支援コンサート」や「はじめのいっぽコンサート」などの企画を年 30 公演ほど制作。それとともに、近隣の幼稚園や小学校、病院、福祉施設などに音楽を届ける「アウトリーチ活動」を自治体とも連携しながら、これまでに 300 回以上、実施してきた。

こうした TAN の活動を支えているのは、第一生命の職員 450 名を含む個人会員 750 名と、同社を筆頭とする 33 の法人会員や協賛企業、さらに約 70 名の積極的な市民サポーターや社内ボランティアである。サポーター自らが企画する「オープンハウス」や、各支社の職員がマッチングギフト制度を活用してアウトリーチを実施するなどの展開も見られる。さらに、これまでの経験を踏まえた「文化ボランティア・コーディネーター講座」も本年より開講した。

NPO という形態が職員や市民の参加を促し、地域に根ざした音楽活動を着実にひろげてきたのである。

【評価ポイント】

・第一生命ホールの歴史をふまえ、安定した持続力ある取り組みがなされている。

・NPO 法人の活動に職員の参加を促し、地域社会と結びつく発展的な拡がりが見える。

＜メセナアワードとは＞

「メセナアワード」 － 企業・企業財団による、優れたメセナ活動を顕彰しています。

企業メセナ協議会は、企業メセナの奨励とよりいっそうの発展をはかることを目的に、

1991 年に「メセナ大賞」を創設しました。毎年、芸術文化の振興に高く貢献した企業・企業財団を表彰しています。

毎年、全国から企業・企業財団によるメセナ活動を公募し、外部の専門家による審査会によって、受賞活動を選考します。受賞企業には、表彰状と気鋭の美術作家が制作したトロフィを贈呈しています。

2004 年より、この「メセナ大賞」を、【メセナ大賞部門】【文化庁長官賞部門】の 2 部門からなる「メセナアワード」としました。

社団法人企業メセナ協議会ホームページより

1952 年、第一生命本社内の集会室であった第一生命ホールは外部に開放され、民間貸しホールの先駆けとして様々な演奏会や演劇・落語などの公演が行われ、戦後の文化振興に貢献してきました。

1989 年、第一生命館の保存・改築に伴い 37 年間に渡る活動を休止しましたが、2001 年、東京・晴海に再興されました。

ホール再興にあたり、当社は、NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワーク（TAN）を設立し、TAN への支援を通じた「地域に密着した芸術活動」の実現を目指しました。このような民間ホールにおけるＮＰＯ法人設立は当時、先駆的な試みでした。

TAN は、工夫を凝らした公演を制作するとともに、日頃ホールに来場できない学校や福祉施設の方々に対して良質な音楽を届ける「アウトリーチ活動」を実施しています。こうした TAN の活動を、多くの職員を含む個人や法人会員、市民サポーターや社内ボランティアが物心両面から支え、地域に根ざした音楽活動を着実に広げています。

こうした取組みが評価され、社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナアワード 2009」にて「メセナ大賞」を受賞しました。

芸術文化と地域の発展に貢献するよう、今後も TAN と連携した活動を継続していきます。

「第一生命 CSR レポート 2010」より

Ⅵ. コンサート・アウトリーチの紹介

１．自主企画公演

【SQW2009-2010】
ＳＱＷ　Festa 第四日　挑戦する者
2009 年 6 月 13 日（土）18:00 開演
【報告：K.N／会社員／座席不明】

大窪道治

カルミナ四重奏団の演奏、とても素晴らしかった！ あんな素敵な体験ができるのなら、もっと日ごろから、まめにコンサートホールに足を運べば良かったと切に思う。

第一生命ホールを初めて訪れた。こぢんまりとした、美しい空間だった。円い形のホールは自分にとって新鮮で、とてもおもしろかった。

今回良かったと思うことの一つは、世の中にこんなに素晴らしい曲があるということを知ることができたこと。まずシュナイダーだが、あんなに複雑で難解な構成で、それでいて楽しく、生き生きとした音楽を書ける人が現代にいるのには驚いた。今回の演奏で、弦楽四重奏３番は早くも私のお気に入りになってしまった。

ヴェレッシュも初めて聴いた。私はクラシック音楽が好きだが現代音楽はそこまで好きではなく、良いなあと思うことは稀なのだが、ヴェレッシュの四重奏曲には思わず引き込まれてしまった。知らない曲故、次にどうなるのだろうという期待と不安が常に交錯する、そんな魅力満載だった。ラヴェルをお目当てにいったはずが、スイスの音楽家の虜になってしまった。

このように感じさせられたのは、やはりカルミナ四重奏団の実力なのだろう。楽章が一つ終わるごとに、観客の興奮が高まるのが感じられた。私は演奏中、このコンサートが終わらなければいいのにと思っていた。いつまでも聴いていたい、そんな演奏だった。

ラヴェルの最終楽章が終わった後の割れんばかりの拍手は、お世辞でも何でもない、観客の素直な感想だ。私と同様に興奮していた人は、ひたすら手を叩きたかったはずだ。スタンディング・オベーションをしていた方もいた。私も立ち上がりたかったが、あまりの感動のため動けなかった。観客席が明るくなるまで鳴りやまない拍手。こんなコンサートは初めてだった。

彼らの強烈な個性は聴いていて楽しかった。溢れんばかりの表現を生きた演奏で実現する、そんな感じだった。まさに、音楽が生きている感じ。単調な、退屈な場面など一度も無かった。常に緊張が張り詰め、何かが生成されていく感じだ。といっても重苦しいわけではなく、自然に何かが生まれ、動き出し、華開いていくかのようだった。

良かったのは、彼らのコメントがプログラムに載っていたことだ。どのような想いで彼らは演奏をしていたのか、プログラムを通じて垣間見ることができた。音楽家とは音楽をもってのみ語る職業人なのかもしれないが、彼らに興味をもってしまった私にはとても嬉

しいサービスだ。

最後のラヴェルが始まる前、彼らはどのようにラヴェルの楽譜を感じ、表現するのだろうという想いでいっぱいだった。バルトーク、ヴェレッシュ、シュナイダーで私達の期待は十分高まっていた。そんな期待を裏切らないカルミナ四重奏団は相当な実力者なのだろう。観客はとにかく聴きに聴き入っていた、そのはずだ。あんなに引き込まれていく聴衆を見ることも、そうはないだろう。貴重な経験だった。

私の第一生命ホールの感想は、カルミナ四重奏団のおかげで本当に良いものとなった。良い演奏会に出会えた幸福に感謝したい。

クラシックはじめのいっぽ vol.17
ヴァイオリン＆ピアノ
～安永徹＆市野あゆみ～
2009 年 10 月 22 日（木）11:30 開演
【報告：斎藤直美／月島在住 ／１階 14 列 18 番】

小田 東

「はじめのいっぽ」のシリーズのいいところは、「１時間と短い」「お手頃価格」そして、「演奏家の生の演奏だけでなくお話付き」だと思います。

今回もそうでした。「プログラムの補足を……」とお話が始まりました。

「ピアノとヴァイオリンとの会話を楽しんでほしい」このお話がとても印象に残りました。

その当たり前なことを意外と忘れて聴いているかも……

「知らない曲だから楽しめない」とか「クラシックって難しそう」とか、そういったことではなく、初めて聴く曲でもそうではなくても、「楽器同士の会話」を追いかけていれば心地よいのだなと、この日、再認識しました。

例えば、最初のブラームスでは、ブラームスがクララを思い出して……というエピソードがありました。

こういったエピソードは、ブラームスって多いかも……と、心の中でクスクス笑いながら聴いているだけで楽しい。

あのお話の場面は、この楽章のどのあたりだろうと考えているのも面白い。

この曲を知らなかったことを忘れていたくらい、エピソードを思い出しながら楽しんでいました。

後半は小曲がずらり、だけれど超有名曲というわけでもないのに楽しめてしまったのは、演奏にプラスしてお話があったからこそ。

エルガーに「愛の挨拶」以外でこんな素敵な作品があるんだなとか、ピアソラやチャップリンまで聴けちゃうんだとか、そんな風に気軽に聴いちゃっていいコンサートがあることがうれしいと感じたひと時でした。

この日の会場は、穏やかな雰囲気。演奏家さんのファンの方と、このシリーズのお客様がちょうどいいかんじで混じり合っているなぁと感じました。例えば、私がモニターのためのメモをとっていたときに鉛筆を落としてしまい、曲と曲の間に拾う時も、周りの方達はおだやかでキリキリとしていない。こういったことからも、この日の演奏会の印象がどんどん良くなるものなんだなと、今、思い出しています。

そしてこのシリーズのもうひとつのいいところは、「託児サービス」があることです。
演奏会のお値段より少しお高めではあっても、小さな赤ちゃんと一緒にホールへ行くことができて、その場で預かっていただけて、終わったらすぐにお迎えに行けるから慌てなくてもいいのがありがたい。
演奏会へ行きたいなと思っている私には、とてもうれしいことなのです。有料であっても、こういったサービスがあることは、知られてもよいのになぁと思います。
小さな赤ちゃんでも、自分のためにホールの方が親切にしてくれていることは、案外わかっていると思うし、そういう体験をさせてあげられることができてよかったなと改めて感じました。

子どものためのクリスマスコンサート
2009 年 12 月 23 日（水・祝）10 時 30 分開演
【報告：的場康子／会社員／2 階 C1 列 5 番】

大窪道治

「子どものためのクリスマスコンサート」、小学生の娘と一緒に聴かせていただきました。ホール入口のロビーでいただいたプログラムは、小学生でもわかるように、ふりがな付きのものでした。座席に着くと早速、娘もプログラムを熱心に読んでいました。

①モーツァルト：ディヴェルティメント変ロ長調 k.137（125ｂ）
コンサート開始の合図とともに、照明が暗くなったと思ったら、ステージには、次々とカラフルで華やかな衣装を着た演奏者が続々と登場してきました。演奏だけでなく、視覚的にも華やかなステージは、クリスマスのイメージにピッタリでした。3 楽章までの全曲演奏でしたが、楽章の途中で拍手が全く聞こえてきませんでした。「子どものため」のコンサートとしては、びっくりです。

楽器の紹介
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの順で楽器の紹介を兼ねて、子どもたちがよく知っている曲を少しずつ演奏してくださいました。特に、ヴィオラで「崖の上のポニョ」が演奏されたときには、客席から子どもたちの歌声も聞こえ、ホール全体がほのぼのとした雰囲気に包まれました。

②パッヘルベル：カノン　ニ長調

③J.S.バッハ：エア～管弦楽組曲第３番ニ長調ＢＷＶ1068 より
④J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ
　この３曲の時には、特別に、子どもたちが 20 人くらいステージに上がって、演奏者の後ろで聴けるという企画が用意されていました。④の演奏後、松原勝也氏が「座席とステージ上で聴くのと、どう違う？」と子どもたち一人ひとりにたずねたら、「(ステージ上の方が）音が大きい、振動が聞こえた」「座席よりもきれいに響いていた」「楽器の音が揃っていてすごかった」「よく音色が聞こえてよかった」「いろいろな音が出てよかった」「コントラバスの音の振動で足が震えた」等、みんなうれしそうに元気よく答えていました。

⑤チャイコフスキー：「フィレンツェの思い出」ニ短調 op.70(弦楽合奏版)より第４楽章
　最後のこの曲は、アドヴェント弦楽合奏団とともに、松原勝也氏、鈴木理恵子氏、川崎和憲氏、市坪俊彦氏、山崎伸子氏も一緒に演奏しました。1 時間とはいえ、コンサートも終盤で、子どもたちの集中力が少々落ちる頃にもかかわらず、圧倒されるエネルギッシュな演奏に、一緒に聞いていた娘も、音の強弱、速さの違い、そして「やさしさ」に感動したようで、「素敵な曲だったね」と喜んでいました。

　アンコールの「きよしこの夜」のときには、ステージ上のスクリーンにクリスマスツリーが映し出され、クリスマスの雰囲気をしみじみと感じさせてくれました。終演後、エレベータで降りているとき、「癒されたね」というお母さん同士の喜びの会話が聞こえてきたのも、この演奏と演出の効果からかもしれません。
　子どもの心にストレートに響く本物の演奏。演奏者の近くで聴ける貴重な体験。親子で一緒に過ごす素敵な時間。きっと、多くの子どもたちにとってこのコンサートは、「クリスマスプレゼント」として心に残るコンサートだったと思います。

【TAN’s Amici Concert】
グスタフ・レオンハルト
チェンバロ・リサイタル　第一夜
2009 年 5 月 7 日（木）19:00 開演
【報告：Y.H ／会社員／1 階 15 列 30 番】

　朝から降っていた雨もあがり、軽い足取りで向かいました。開演前のホールを見渡してみると、思っていたよりも若い人が多く見受けられましたが、一番多かったのは年配の夫婦の方でしょうか。観客は期待を胸に、落ち着いた様子で開演を待っていました。
　始まる数分前、会場全体が静かになり、緊張感が漂い始めました。レオンハルト氏登場後、緊張感はより一層高まり、息をするのにも気を使うような静寂がありました。皆が真剣に演奏を聴きたいという気持ちの表れだと感じました。演奏は静かなメロディで始まり、振り返ってみると少し緊張した演奏だったように思います。初めて拍手をするタイミングでレオンハルト氏が座ったまま軽くお辞儀をし、その姿がとてもチャーミングだったので、ほっと一息。観客にも少しリラックスムードが漂い始め、肩の力を抜いて演奏が再開され

ました。

前半が終了し休憩時間に入ると、レオンハルト氏による調律のため、前寄りの座席の人はほぼホール外やドア付近に移り、その姿を見守ります。レオンハルト氏が静かに調律を始めました…真ん中と低音、そして高音へと次々に合わせていきます。チェンバロはやはり音程がずれるのが早く、まんべんなく調節する必要があります。しかしレオンハルト氏の手にかかれば、すっと整えられていき、それがとても心地よく感じられました。貴重な場面を見せていただきました。

調律後比較的すぐに後半の演奏が再開されました。レオンハルト氏は調律のために休む時間がほとんどないはずだけれど、短期間でリフレッシュしたように前半とはまったく違った雰囲気で演奏を始めたのにとても驚きました。偉大な演出家だと思いました。会場の雰囲気もほぐれ、より流れに乗った演奏でレオンハルト氏も熱くなってきた！と感じたのは私だけではなかったのか、２階席に目を移すと前半に比べて観客が前のめりになっていて、惹きつけられていると感じました。

ラストまで情緒溢れる演奏と表情ある曲目ですっかり堪能させていただきました。弾き終わった後しばらく拍手はなりやまず、再び登場したレオンハルト氏が選んだアンコール曲はクープランのロンドーでした。

会場は終始穏やかな雰囲気でしたが、観客は満足に満ちた表情で熱い気持ちを胸に会場を後にしたことと思います。もちろん私もその一人です。レオンハルト氏がこれからも穏やかで熱い演奏を続けてくださることを願っています。

２．アウトリーチプログラム

＜ハロー！コンサート＞
第７回 S.I.T.コミュニティコンサート「オータムコンサート」
演奏者：クラリネット四重奏（中川鉄也／内山厚志／松本安津美／橋田はるな）
場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス１階テクノプラザ
日時：2009 年 10 月 17 日（土）14：00～15：00
【報告：山白真代／TAN サポーター】

晴海にある第一生命ホールから徒歩で約 15 分、芝浦工業大学豊洲キャンパス内の「テクノプラザ」でオータムコンサートが開催されました。
芝浦工業大学の豊洲キャンパスは、2006 年にオープン。街の中にそびえ立った新しく綺麗なキャンパスで、地域と共に創る学校として様々な企画が意欲的に行われています。
今回、トリトン・アーツ・ネットワークが、こちらでコミュニティーコンサートを行うのは 7 回目。地域の方々にもこのコンサートが浸透しているようで、この日も芝浦工業大学の学生を始め、近隣に住むご夫婦や親子連れ等が約 50 名集まり、クラリネットの美しい調べを楽しみました。
コンサートでは､親しみのある曲からクラシック曲等々の趣向を凝らしたプログラムと、中川さんの楽しいおしゃべりで楽器の説明や曲の紹介があり、あっという間の 60 分。
クラリネットと言えば・・・「クラリネットをこわしちゃった」が有名です。意外に、この曲は滅多に演奏する事がないらしく、このメンバーで演奏するのもこの日が初めて。耳なじみあるメロディーに子ども達は勿論、大人達も身を乗り出し、熱心に聴いていたのが印象的でした。
すべてのプログラムが終了後、アンコールの 2 曲がプレゼント。最後は大きな拍手に包まれて、コンサートの幕は閉じました。
“こんなに近くで生の演奏を聴けるなんて、とても貴重な機会でありがたいです”と喜んで帰る親子や、“次回も楽しみにしています”と言うご夫婦等、多くの方が、生の音楽を身近に触れ、秋の午後を有意義に過ごされたのがよく伝わりました。
地域でこういった活動が継続されているのは、大学にとっても近隣の住民にとっても、また、演奏家にとっても素晴らしい機会であるなと強く感じました。
今回のコミュニティーコンサートでは、事前打ち合わせや演奏家との交渉、当日の会場案内や設営、受付、司会等とサポーターもより深くお手伝いさせて頂きました。トリトン・アーツ・ネットワーク、芝浦工業大学、そして TAN サポーターとが、それぞれの役割を担い､来てくださった皆様に楽しんで頂けるコンサートが実現出来た事をうれしく思います。

＜アウトリーチ＞
ふれあい音楽広場
～ご近所のみんなとピアニスト田村緑さんとで作る音楽と交流の楽しい時間～
演奏者：田村緑（ピアノ）
場所：中央区立築地児童館
日時：2010 年 1 月 8 日（金）14：30～16：00
【報告：小山文加／インターン（東京芸術大学大学院博士後期課程）】

このアウトリーチは、文化庁委託文化ボランティア支援拠点形成事業である「文化ボランティア・コーディネーター」講座受講生の、“同じ地域に住んでいても接点のない子どもと年配の方が音楽を通してふれあう場所を作りたい”というアイディアから生まれた取り組みである。ピアニストの田村緑さんとの打合せを重ね、考えられたプログラムは、参加者がただ音楽を聴くだけではなく、活動を通してお互いにコミュニケーションの取れるよう意図したものになっている。

参加した小学３年生の児童を中心とする元気のよい子どもたちは、とても素直でどの活動にも意欲的であった。川柳ゲームではテレビの影響があるのか、子どもたちは抵抗感なく創作に取り組み、ピアノ演奏に乗せて生き生きと発表していた。特にみんなの前で作品を詠む経験は、非常に貴重なものだったのではないだろうか。ピアノ演奏もすばらしいとともに、子どもと高齢者の方とのコミュニケーションもさかんに行われ、世代間交流という目的を達成する内容になっていたと思う。

川柳ゲームのほかにピアノの楽器紹介や、ハンドベル演奏などで、ボランティアスタッフにとっての活躍の場もたくさん用意されていた。また、受入側の担当の方たちも、手作りの飾り付けを用意してくださるなど、終始あたたかく対応してくださっている印象を受けた。

どれも充実したプログラムである一方、個々の活動の時間は限られるため、ハンドベルの演奏にはかなり一生懸命になっている参加者の方がいた。カノンの楽想や、田村さんのすてきな演奏があることを考えると、もう少し楽器に慣れる時間をとるなど、参加者がよりゆったりと心地よく自分たちの演奏や田村さんの音楽に耳を傾けられるような工夫を考えていきたいと思う。

全体的に田村緑さんによる豊富なアイディアが生かされたプログラムは、やや時間の延長はあったものの、時間を感じさせないほど参加者を惹き付けていた。

＜小学校アウトリーチ＞
【児童の感想より】

◆ 目の前でえんそうしてもらってすごくうれしかったです。私は家でお父さんとかにチェロのことやバイオリンやヴィオラのことを聞いたことがあったので、聞けてうれしかったです！また学校に来てえんそうしてください！！

◆ 目の前で綺麗な音楽を聴けて良かったです。また聴きたいです。ＣＤやテレビで見ると、強弱がついていなかったりしているけど、その場でみるとそういうのが感じられ

て良かったです。

◆ 今日は日本の音楽を聞かせに来てくれて、ありがとうございます。
ぼくは和楽器の演奏を聞いて思ったことは、和楽器のえんそうは、静かで落ち着いた演奏だと思ったけど、迫力もあるんだな！ということがよく分かりました。あと、その楽器ごとにリズム感のむずかしさや曲の中心になる楽器など、その楽器ごとに、一つのまとまりをもっているんだな、とも思いました。

◆ 4 人しかいなくて楽器も４つなのにたくさんあるように聴こえてきて面白かった。

◆ どうやったらマイクなしで苦しそうな顔をしないで声が大きくひびくうえに、なんで声が自分の思い通りになるのか知りたいです。またピアノの人はどうして配られたばかりのがくふをその場でおぼえてすぐひけるのか知りたいです。

◆ トランペットの演奏をしてくれた中川さんが、音をやわらげるために道具を使っていたことが印象的でした。ジャズは音楽そのものを楽しくするということが分かりました。

◆ 今日の音楽を聴いてもっと聴きたいと思いました。次はコンサートホールに聴きに行こうと思います。みんなが息を合わせて体からリズムをとっていて私もおもわず拍手がでるほど楽しかったです。私は学校のブラスバンドに合格したのでもっとがんばりたいと思いました。

2009 年度小学校アウトリーチ児童用アンケート集計結果（12 校中 11 校）

回答人数:５３６名		（人）	（%）
１．目の前で演奏をきいてどうでしたか？（複数回答）	１．楽しかった	399	74
	２．音が大きくて心に響いた	336	63
	３．演奏がすごかった	438	82
	４．少しあきてしまった	6	1
	５．楽器が面白かった	156	29
	６．話が面白かった	123	23
２．プログラム（きいた曲）はどうでしたか？（複数回答）	１．楽しかった	322	60
	２．またききたい	423	79
	３．むずかしかった	42	8
	４．自分もいつか演奏してみたいと思った	241	45
	５．きいたことのない曲もいい曲だなと思った	284	53
	６．もっと知っている曲がききたかった	49	9
３．音楽会が終わったあと、どう思いましたか？（複数回答）	１．自分も何か楽器を演奏してみたいと思った	301	56
	２．今、学校でやっている合唱や合奏をがんばりたいと思った	249	46
	３．音楽会に行ってみたいと思った	238	44
	４．とくに何も思わなかった	19	4
	５．今まで以上に音楽が好きになった	219	41
４．第一生命ホールへ行ったことがありますか？	ある	114	21
	ない	412	77
	未回答	10	2

Ⅶ. 取材記録・掲載された主な記事

１．新聞（22 件）

媒体名	掲載日	コーナー名	公演名・内容
読売新聞夕刊	2009年6月12日（金）	Topic	カルミナ四重奏団・ベネヴィッツ・クァルテット
読売新聞夕刊	2009年6月23日（火）	演奏会評	カルミナ四重奏団（文：安田和信）
読売新聞夕刊	2009年7月14日（火）	City Life 音楽会	６３０コンサート　中川英二郎
読売新聞夕刊	2009年10月19日（月）		第一生命（相）メセナアワード2009 メセナ大賞受賞
読売新聞夕刊	2009年12月8日（火）	City Life　音楽会	クリスマスコンサート
読売新聞夕刊	2010年１月12日（火）	City Life　音楽会	モーツァルトのニューイヤー
読売新聞夕刊	2010年１月23日（土）		クァルテット・エクセルシオ（招待券案内）
読売新聞夕刊	2010年3月2日（火）	City Life　音楽会	カントゥス・クァルテット
読売新聞夕刊	2009年5月26日（火）	City Life 音楽会	SQWFestaカルミナ四重奏団
読売新聞夕刊	2009年7月28日（火）	City Life　音楽会	八月のまつり30
読売新聞夕刊	2009年10月6日（火）	City Life　音楽会	プレアデス・ストリング・クァルテットⅥ
朝日新聞夕刊	2009年6月12日（金）	be エンタ　古典クラシック	カルミナ四重奏団
朝日新聞朝刊	2009年8月3日（月）	文化欄	八月のまつり30（文：吉田純子）
朝日新聞朝刊	2009年10月1日（木）	社会欄	第一生命（相） メセナアワード2009　メセナ大賞受賞
朝日新聞朝刊	2010年2月１日（月）	東京版	マッチング・ギフト・アウトリーチ 「障害者団体に邦楽出前」（文：豊吹雪）
朝日新聞夕刊	2010年１月28日（木）		クァルテット・エクセルシオ（文：吉田純子）
日経新聞夕刊	2009年5月13日（水）	音楽がいど	日本音楽集団
日経新聞夕刊	2009年5月28日（木）	Monthly Music Salon （広告企画）	カルミナ四重奏団
日経新聞夕刊	2009年10月22日（木）		第一生命（相） メセナアワード2009　メセナ大賞受賞
日経新聞夕刊	2009年12月28日（月）	文化面	カルミナ四重奏団「今年の収穫・音楽」 （文：江藤光紀）
毎日新聞夕刊	2009年10月8日（木）		第一生命（相） メセナアワード2009　メセナ大賞受賞
しんぶん赤旗	2009年9月4日（金）	音楽	６３０コンサート　中川英二郎（公演情報）

２．雑誌等（63 件）

媒体名	掲載日／月号	コーナー名	公演名・内容
音楽の友	2009年6月号	People～Interview & Talk	カルミナ四重奏団（文：伊熊よし子）
		Disc Selection	カルミナ四重奏団（文：浅里公三）
		別冊コンサートガイド　Focus	カルミナ四重奏団（文：山野雄大）
音楽の友	2009年8月号	演奏会評	カルミナ四重奏団（文：小倉多美子）
		今月の〇得情報	はじめのいっぽvol.16 仲道郁代（公演情報）、 オープンハウス（公演情報）
		別冊コンサートガイド ：その他の注目コンサート	はじめのいっぽvol.16 仲道郁代（文：山野雄大）
		別冊コンサートガイド：Focus	八月のまつり30（文：寺西肇）
音楽の友	2009年9月号	特集：2010年来日演奏家	ミロ・クァルテット（文：幸松肇）
		特集：今注目すべき“旬”なアーティストは誰だ！	カルミナ四重奏団（文：青澤隆明）
音楽の友	2009年10月号	別冊コンサートガイド:Focus	古典四重奏団、 プレアデス・ストリング・クァルテット（文：山野雄大）
音楽の友	2009年11月号	特集：ヴァイオリニストが求める理想の音	モーツァルトのニューイヤー（川久保賜紀）、 プレアデス・ストリング・クァルテット（鈴木理恵子）
		Scramble Shot～mini news～	第一生命（相）メセナアワード2009　メセナ大賞受賞
		今月の〇得情報	子どものためのクリスマスコンサート（公演情報）
音楽の友	2009年12月号	今月の〇得情報	子どものためのクリスマスコンサート ・630コンサート横山＆矢部
		別冊コンサートガイド:Focus	クリスマスコンサート
音楽の友	2010年1月号	News&Information	モーツァルトのニューイヤー
		別冊コンサートガイド:Focus	モーツァルトのニューイヤー
音楽の友	2010年2月号	36人の音楽評論家が選ぶコンサート・ベストテン	グスタフ・レオンハルト（文：那須田務）
		別冊コンサートガイド：その他の注目コンサート	クァルテット・エクセルシオ（文：山野雄大）

媒体名	掲載日／月号	コーナー名	公演名・内容
音楽の友	2010年3月号	Scramble Shot～news＆Information～	山田和樹ブザンソン国際指揮者コンクール優勝記念特別演奏会
		Scramble Shot～news＆Information～	クァルテット・エクセルシオ、慶應義塾大学でコンサート（文：高橋宣也）
		別冊コンサートガイド：Focus	カントゥス・クァルテット
音楽の友	2010年4月号	Scramble Shot～	６３０コンサート～横山幸雄＆矢部達哉～
ぶらあぼ	2009年6月号	ぴっくあっぷ	小倉貴久子
ぶらあぼ	2009年7月号	ぴっくあっぷ	クラシックはじめのいっぽ後半４公演
ぶらあぼ	2009年9月号	ぴっくあっぷ	古典四重奏団（文：那須田務）
		大耳小耳	アドヴェントセミナー
ぶらあぼ	2009年10月号	ぴっくあっぷ	ふたりでコンサートⅥ（文：堀江昭朗）
ぶらあぼ	2009年11月号	ぴっくあっぷ	モーツァルトのニューイヤー（文：渡辺謙太郎）
ぶらあぼ	2009年12月号	ぷれすてーじ	西村朗×クァルテット・エクセルシオ（文：伊藤制子）
ぶらあぼ	2010年1月号	ぴっくあっぷ	６３０コンサート　横山・矢部（文・伊東雨音）
ぶらあぼ	2010年2月号	ぴっくあっぷ	育児支援コンサート（文・伊東雨音）
ストリング	2009年6月号	interview	カルミナ四重奏団（文：渡辺和）
ストリング	2009年12月号	interview	モーツァルトのニューイヤー・川久保賜紀（文：ストリング編集部）
ムジカノーヴァ	2009年7月号		はじめのいっぽ 夏休みファミリースペシャル（公演情報）
ムジカノーヴァ	2009年12月号	News&Event（受賞）	第一生命（相）メセナアワード2009　メセナ大賞受賞
		News&Event（イヴェント）	子どものためのクリスマスコンサート（公演情報）
サラサーテ	vol.29 2009年7月１日（水）	クァルテットちょっといい話	カルミナ四重奏団（文：大島路子）
		愛器名鑑	石坂団十郎～クラシックはじめのいっぽvol.19 石坂団十郎＆マルクス・シルマー（公演情報）
サラサーテ	vol.32 2010年2月１日（月）	クァルテットちょっといい話	ミロ・クァルテット
モーストリークラシック	2009年6月号	コンサート特選館６月	カルミナ四重奏団（文：寺西基之）
モーストリークラシック	2009年8月号	演奏会評	カルミナ四重奏団（文：柴田克彦）
		仲道郁代「感動の瞬間」	はじめのいっぽvol.16 仲道郁代（公演情報）
		コンサートNavi	はじめのいっぽvol.16 仲道郁代（公演情報）
音楽現代	2009年12月号	クラシック音楽界「ゆく年くる年」	子どものためのクリスマスコンサート・クリスマスコンサート・モーツァルトのニューイヤー（公演情報）
		告知板	第一生命（相）メセナアワード2009　メセナ大賞受賞
音楽現代	2010年1月号	2010年来日する 外国人アーティスト一覧	ミロ・クァルテット（公演情報）
ADLIB	2009年8月19日（水）	Concert Memo	６３０コンサート　中川英二郎（公演情報）
ＰＩＰＥＲＳ	2009年9月号		６３０コンサート　中川英二郎（公演情報）
The Sax and Brass マガジン	2009年8月28日（金）		６３０コンサート　中川英二郎（公演情報）
Band Journal	2009年8月10日（月）		６３０コンサート　中川英二郎（公演情報）
intoxicate	#81 2009年8月20日（木）	O-CHA-NO-MA ACTIVIST （インタビューページ）	カルミナ四重奏団（文：池田卓夫）
ぴあクラシック	2009/2010冬vo.13 2009年12月5日（土）発行	クラシック界これに注目！ ～器楽＆室内楽～	ミロ・クァルテット（文：山野雄大）
Weeklyぴあ	2009年6月4日（木）	クラシックどれみよ？	カルミナ四重奏団（公演情報）
Weeklyぴあ	2009年6月18日（木）	クラシックどれみよ？	小倉貴久子（公演情報）
Weeklyぴあ	2010年3月4日（木）	クラシックどれみよ？	ミロ・クァルテット（公演情報）
家族でお出かけ 夏休み特別号	2009年6月3日（水）	音楽会・コンサート	オープンハウス（公演情報）
定年時代	2009年8月下旬号	音楽	クラシックはじめのいっぽ～仲道郁代（公演情報）
晴海時間	2009年9月10日（木）	晴海エリア紹介	第一生命ホールと トリトン・アーツ・ネットワーク紹介
Win Kids 12月号	2009年12月号	冬休みお薦めの映画 ・コンサート	子どものためのクリスマスコンサート（公演情報）
メセナnote	63号 2009年12月15日	トップ・インタビュー	第一生命（相）メセナアワード2009　メセナ大賞受賞
		メセナアワード2009 受賞活動紹介	第一生命（相）メセナアワード2009　メセナ大賞受賞
メセナnote	64号 2010年3月15日	協議会からのお知らせ	協議会賀詞交歓会 第一生命（相）メセナアワード2009　メセナ大賞受賞

３．テレビ・ラジオ

媒体名	掲載日／月号	コーナー名	公演名・内容
NHK-hi	2009年8月31日（月） ／9月7日（月）	ハイビジョン ・クラシック倶楽部	SQW2009-2010"Festa" カルミナ四重奏団 第4日
教育テレビ	2009年9月4日（金）	芸術劇場	SQW2009-2010"Festa" カルミナ四重奏団 第4日
NHK衛星第２	2009年9月28日（月）	クラシック倶楽部	SQW2009-2010"Festa" カルミナ四重奏団 第4日
NHK-FM	2009年10月2日（金）	ベストオブクラシック	SQW2009-2010"Festa" カルミナ四重奏団 第4日
NHK-hi	2010年3月3日（水） ／3月10日（水）	ハイビジョン ・クラシック倶楽部（再放送）	SQW2009-2010"Festa" カルミナ四重奏団 第4日

Ⅷ．トリトン・アーツ・ネットワークからの情報発信

１．かわら版

号	発行日	主な記事／インタビュー記事
79号	2009年4月1日	SQW2009-2010"Festa" カルミナ四重奏団
80号	2009年5月1日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.13 森麻季
81号	2009年6月1日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.14 川畠成道
82号	2009年7月1日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.15 宮本益光／Vol.16 仲道郁代
83号	2009年9月1日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.17 安永徹&市野あゆみ
84号	2009年10月1日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.18 大萩康司
85号	2009年11月1日	ふたりでコンサートⅥ 野田ヒロ子＆中鉢聡
86号	2009年12月1日	モーツァルトのニューイヤー2010 吉野直子
87号	2010年2月1日	育児支援コンサート 田村緑
88号	2010年3月1日	音楽のある週末 弦楽器の魅力 第1回 千住真理子
号外	2009年7月1日	第一生命ホールオープンハウス2009
号外	2009年12月1日	育児支援コンサート

２．ぶらあぼ

号	発行日	主なインタビュー記事
5月号	2009年4月18日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.13 森麻季
6月号	2009年5月18日	SQW2009-2010"Festa" カルミナ四重奏団
7月号	2009年6月18日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.15 宮本益光
8月号	2009年7月18日	６３０コンサート 中川英二郎
9月号	2009年8月18日	アドヴェントセミナー& クリスマスコンサート 松原勝也
10月号	2009年9月18日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.17 安永徹&市野あゆみ
11月号	2009年10月18日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.18 大萩康司
12月号	2009年11月18日	モーツァルトのニューイヤー2010 吉野直子
1月号	2009年12月18日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.19 石坂団十郎
2月号	2010年1月18日	クラシックはじめのいっぽ　Vol.20 清水和音
3月号	2010年2月18日	音楽のある週末 弦楽器の魅力 第1回 千住真理子
4月号	2010年3月18日	SQW2010-2011"Festa" ジョン・ラジェス（ミロ・クァルテット）

Ⅸ. 収支報告

平成21年度収支計算書

（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ 収入の部			
1 年会費収入			
個人年会費	7,310,000		
法人年会費	14,700,000	22,010,000	
2 助成金収入			
助成金収入		25,627,521	
3 寄付金収入			
寄付金収入		57,542,000	
4 事業収入			
チケット売上高	21,856,950		
企画料収入	907,079		
販売受取手数料	143,751		
かわら版掲載料	1,065,000	23,972,780	
5 雑収入			
受取利息	22,736		
雑収入	2,785,051	2,807,787	
6 棚卸資産振替収入			
貯蔵品		132,328	
当期収入合計（Ａ）			132,092,416
Ⅱ 支出の部			
1 事業費			
公演制作費	53,151,799		
地域活動制作	6,098,096		
評価システム	849,585		
サポーター	822,569		
業務委託料	10,231,540		
外注印刷費	1,066,180		
広告宣伝費	6,608,772		
ホームページ	1,127,198		
通信費	829,912		
社用外出交通費	37,210	80,822,861	
2 管理費			
給料手当等	24,156,027		
通勤交通費	930,530		
法定福利費	2,862,732		
福利厚生費	108,878		
顧問料	1,268,000		
会議費	6,506		
交際費	206,823		
諸会費	54,262		
備品消耗品費	1,677,151		
新聞図書費	20,111		
支払手数料	147,626		
レンタル料	25,200		
水道光熱費	47,231		
地代家賃	3,748,260		
賃借料	1,010,434		
租税公課	877,642		
雑損失	0	37,147,413	
3 棚卸資産振替支出			
貯蔵品		0	
当期支出合計（Ｂ）			117,970,274
当期収支差額（Ａ）－（Ｂ）			14,122,142
前期繰越収支差額（Ｃ）			18,604,421
次期繰越収支差額（Ａ）－（Ｂ）＋（Ｃ）			32,726,563

X. 個人会員・法人会員・協賛企業・助成金・認定

１. 個人会員

秋鹿武志
相座政夫
粟生田宏
赤岸幸久
赤木申覧
赤堀弘治
秋元滝範
秋本信幸
秋元徹
秋吉満澄
浅川邦彦
朝倉礼美
浅田哲朗
浅野忠利
浅野友靖
浅野春美
旭聖太
朝比奈洋
芦川裕史
芦田至
東寿子
畦上徹
安部彪
阿部仁
安部洋子
天野敏明
荒井一浩
荒川敬子
荒川祐子
荒川裕介
荒銭恵子
安昌寿
安斉洋一
安藤好一郎
安藤幸恵
飯田修
飯田吉宣
飯島浩明
飯塚菊雄
飯塚健一
五十嵐信一
壱岐浩一
壱岐哲子
池田眞一
生駒尚樹
石井一眞
石井範昭
石井美麗
石井登
石黒三男
石田高仁
石野亜希子
石野順久
石塚幸徳
石附賢実
石丸住雄
石嶺幸男
泉善二
五十君興
磯部雄哉
板橋清
依知川明美
市川哲夫
市川悦子
一宮正寿
糸魚川順
糸魚川規子
伊藤恵理
伊藤和子
伊藤修作
伊藤直紀
伊藤浩樹
糸川輝
糸長丈秀
糸長順子
稲垣精二
稲垣俊治
稲葉和史
稲葉孝宏
猪股慶子
今泉典彦
今野照雄
今野みち子
今村由紀江
入江修二
岩田進
岩田憲一
岩渕康哉
岩間千織
岩本優
植田茂夫
植田寛
上田眞
上田徹
上野啓
上村昌子
浮田萌男
内海幸男
内木場信篤
内田智
内田高弘
内野弘一
宇津木達也
宇都宮吉弥
有働洋
宇野雅仁
梅垣春記
梅垣雅子
梅村俊二
江崎正志
餌取寛大
海老根美枝子
江間洋介
江間美代子
江間亮三
江見正基
遠坂進
遠坂弥生
大磯公男
大崎亮三
大崎恵子
太田陽子
太田せつ子
太田仁
太田宏
大田道広
大竹浩介
大利一郎
大場孝浩
大羽孝義
大橋良弘
大平和代
大村高広
大屋延興
岡垣晃
岡田陽八郎
岡野利行
岡野美樹
岡本一郎
岡本敬三
岡本佳子
岡本譲治
小川博康
奥秋寛子
奥田健治
奥田春光
奥野偕之
奥村隆夫
尾崎克利
落合庸人
落合香子
乙幡亨
小野耕司
小野哲義
尾上芳江
小野澤啓太
小畠秀之
小畠優子
小原一泰
小比賀一史
小美野真知子
貝賀直樹
加賀司
鏡味徳房
角谷晃
影山憲之
加古幸作
梶原賢二
片岡俊郎
片岡佳彦
勝倉賢一
勝村宣子
勝本裕
加藤晃
加藤桂子
加藤大典
加藤秀博
加藤真知子
門倉宏
門倉由利江
門田潤一郎
金井和義
金井洋
金多賀淑久
要俊也
金谷尚子
金山毅
金子弘貴
金塚忍
加納岳
加茂文治
加茂儀子
川上哲哉
川口利春
川嶋一弘
川嶋基容子
川島健資
川島貴志
川原浩策
河原光博
川村哲夫
神田孜
神田久
菊池憲子
菊地美惠子
北尾由布子
北見庄治
北村国芳
木下成一
木下尚子
君島由子
君塚喜一
木村和敬
木元則子
木本恭子
清原健二
桐生清人
金田一章浩
久下眞一
草水美子
久保克文
窪田泰彦
久米信介
久米保則
久米田恒雄
公文美恵子
倉崎伸雄
倉林京子
栗原香陽子
栗原幸宏
黒河龍司
黒瀬雅昭
黒田将司
小石マサ子
小泉宇幸
小泉早苗
小泉哲司
郷正明
河野博
小暮睦美
小澤圭司
小澤多美子
越野誠
越野和栄
小柴周一
小嶋厚
児玉一秀
児玉貴紀
後藤隆之
後藤千夏
小林敦子
小林隆夫
小林万有美
小林優子
小吹達哉
小堀徹
駒田秀俊
小山正之
小山知子
是永修一
小和田滋
今雅
近藤邦夫
近藤総一
近藤美樹子
斉藤昭
斎藤勝利
斎藤喜美子
齋藤健治
齊藤晋一
斉藤岳
齋藤真人
寒河江よう子
阪上美穂
坂口寛
坂下耕治
阪本要一
佐川八重子
櫻井孝穎
櫻井始子
櫻井潔
櫻井建
櫻井謙二
櫻井裕大
佐々木仁
佐田文平
佐藤和美
佐藤公博
佐藤紘一
佐藤泓子
佐藤博宣
佐藤雅美
佐藤ミチ子
佐藤瑠璃
佐野衛
沢田博
塩野勝紀
四釜教次
鹿森毅
重原知幸
鎮目哲郎
信濃裕美
地主道夫
篠原勝彦
篠原健
篠原千寿子
柴垣貴弘
芝田康弘
島光雄
島訓子
嶋志津子
嶋崎薫
島田雄二郎
清水智
清水成人
志村嘉津江
志村宗治
下釜光滋
下條卓雄
下村英一郎
社本孝夫
朱祐子
新宮広之
神保忠男
新山行江
菅野優
菅原功
杉田雅史
杉平清
杉山彰
杉山久子
鈴木毓夫
鈴木君子
鈴木和昭
鈴木久和
鈴木広樹
鈴木真理
鈴木通之
須藤光隆
砂田智行
関口俊幸
関口慎太郎
関根淳
関根勉
瀬口二郎
曽田稔
薗部俊彦
曽山孝一
高井啓明
高木秀美
高久伸一
高崎章
高崎泰典
高崎幸子
高沢由二
高野茂徳
高野美根
高橋敦
高橋瓊子
高橋憲治
高橋直
高橋弘
高橋義哉
高山秀男
滝口真一
武井義明
武井重子
竹内啓子
竹内達夫
竹内徹
竹迫勝義
竹下和孝
竹島健二
竹田津有一
武富將
武富由美子
武富正夫
竹中孝夫
竹中統一
竹村由子
武山芳夫
丹比剛
只野康夫
橘英一
立花淳
立石真
田中明夫
田中明彦
田中賢一
田中千秋
田中早月
田中宏
田中亙
田邉陽一
谷元雄
谷口正吾
田原正
田村拓男
多良宜久
近岡雅之
竹馬泰一
樗木真理
茅野秀真
塚越朋夫
塚越皓子
辻雅夫
辻紀美子
辻岡憲
土屋潔
土屋昌浩
筒井利男
筒井博史
堤悟
堤良一
露木繁夫
手塚義博
寺本徹
寺本秀雄
藤雄一郎
道家庸吉
道家寧
徳岡裕士
東宮洋美
徳永進
徳永寿美
徳永美和子
富永清美
戸村英幸
内藤学
永井久夫
長尾一朗
長尾さち恵
長岡功
中川章
中川正久
中島昭
中島綾子
永島修
長島秀文
永田穂
中出一之
中西啓文
中野清臣
長野二朗
長野洋
中野里孝正
中野里登美子
長浜力雄
長浜静
長濱守信
中村恭二
中村伸治
中村卓史
中村仁
中村由美子
中村雅一
中村光男
中村雄二
永山篤史
永山妙子
中山直子
成田元男
成瀬忠
名和孝
縄田裕子
新倉聖子
新妻勝正
新村健
西尾信一
西尾仁
西垣良三
西垣恵
西川重樹
西崎貴三
西田啓一
西田知佳子
西端雄一
西村俊一
西村義明
西山隆
二瓶文隆
丹羽浩範
野口俊樹
野口芳江
野田瑛子
野田成男
野田稔
野田康夫
野村俊彦
野村ハルヨ
橋爪浩
橋爪美千代
蓮見金夫
長谷川修
畑野宏
花田宣之
花柳あらた
馬場省悟
馬場弘之
羽太雄次
浜田史雄
濱中康弘
濱本久美子
濱本久子
濱本健
浜本吉郎
早川尚男
原隆
原善益
播戸正臣
日置俊次
久林正晴
久林真理子
人見誠
平賀学
平木昭博
平澤宗夫
平田明子
平本洋
平山武史
廣池哲夫
廣瀬千春
弘中健一
樋渡俊朗
深澤宏二
深野貞子
福田健
福田眞
福地幸文
福地淑美
福馬美佐子
深谷竜司
藤井利勝
藤井雅彦
藤尾充
藤田和正
藤田正厚
藤中将樹
藤野正昭
藤巻恵美子
藤原接子
藤原英弥
藤原正邦
船越康弘
古村譲
坊垣内広樹
坊農明彦
保坂よし子
星川恭治
細川隆夫
堀恒彰
堀麗子
堀井俊一
堀江典夫
堀尾則光
堀川良治
堀川京子
本田充也
前田幸雄
牧昭彦
牧山輝郎
正井義隆
麻崎秀人
麻崎和子
増田勇
益田裕之
桝永慎一郎
町田宏子
町田充子
町田瑞穂ドロテア
松岡公
松下公勇
松田倭士
松田明子
松本恒夫
的場康子
丸尾直美
丸野孝一
丸野和美
丸林哲男
丸山栄作
丸山勝
三浦孝正
三浦博延
三浦容子
三浦正乃
三上研
三木隆二郎
瑞岩英幸
水野淳一郎
三田清
三谷俊介
皆川雅紀
皆吉信秀
嶺村清美
箕口一美
御法隆徳
宮城文子
宮崎敦志
宮澤仁司
宮田芳文
宮平正樹
宮本勵
宮本珪子
三輪祐児
向井美由記
向山雅之
村井幸博
村岡恵理
村上公平
村上すゞ子
村島寿深子
村瀬敏彦
村田琢真
村中滋
村中佳津子
村松映一
村松美和子
村山正和
室田文男
室橋弘道
茂木有司
森泉康亨
森岡靖夫
森ケ山和久
守口光徳
森下敦
森田敦
森田富治郎
森田弘子
森田弘志
森永武志
諸永篤
屋井達夫
矢島良司
矢代瑛
矢代紀子
安井喜重
安田頼明
八木淳
箭内剛
柳澤勝義
柳原隆司
山形一敬
山口公生
山口栄子
山口健
山口武彦
山腰憲司
山崎隆司
山崎俊彦
山下真史
山田俊
山田仁
山田浩史
山田真樹生
山田弘美
山田衛
山根康史
山ノ井清蔵
山本敦史
山本恵子
山本宏
山本博
山本龍一
柚木美智子
指吸敏彦
横井幸夫
横田敏実
横道文司
横谷英之
横山伸
横山寛
横山昌明
吉井信幸
吉沢哲生
吉沢裕子
吉田勝
吉田和夫
吉田聡
吉田郷
吉田保
吉田久子
吉田正治
吉田昌史
吉田美佐子
吉原浩司
米倉嘉次
米村由紀
若林寛夫
若林純子
稙田和孝
和田健志
渡辺淳
渡辺一騎
渡辺克久
渡邉光一郎
渡邉奈緒美
渡辺和
渡部日出子
和山正則
（他匿名2名）

五十音順
敬称略

２．法人会員

（ア）エステルハージ・サークル会員

第一生命保険株式会社
株式会社損害保険ジャパン
アサヒビール株式会社
住友商事株式会社
鹿島建設株式会社
株式会社竹中工務店
清水建設株式会社
みずほ証券株式会社
メリルリンチ日本証券株式会社
株式会社ＮＴＴデータ
株式会社日立製作所
大日本印刷株式会社
シティグループ証券株式会社
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
大和証券キャピタル・マーケッツ株式会社
日興コーディアル証券株式会社
野村證券株式会社
第一フロンティア生命保険株式会社
（匿名希望　4 社）

（2010 年 4 月始現在　22 社）

（イ）　ラズモフスキー・サークル会員

株式会社ビデオプロモーション
東京電力株式会社
大成建設株式会社
株式会社大林組
株式会社みずほコーポレート銀行
資産管理サービス信託銀行株式会社
日本物産株式会社
株式会社第一ビルディング
第一生命情報システム株式会社
株式会社グリーンハウス
株式会社関電工
東洋埠頭株式会社
アメリカンファミリー生命保険会社
相互住宅株式会社
日本建設株式会社
みずほインベスターズ証券株式会社

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

（2010 年 4 月始現在　17 社）

（ウ）ブラボー・サークル会員

学校法人芝浦工業大学

第一生命カードサービス株式会社

（2010 年 4 月始現在　2 社）

３．協賛金・寄附金

Ｊ.Ｐ.モルガン証券会社

第一生命保険相互会社

アメリカンファミリー生命保険会社

４．助成金

文化庁芸術拠点形成事業

文化庁文化ボランティア拠点形成事業

日本財団

中央区文化・国際交流振興協会

ロームミュージックファンデーション

日本室内楽振興財団

子どもゆめ基金

５．認定

社団法人　企業メセナ協議会

Ⅺ.　理事・職員・評価委員

１．特定非営利活動法人　トリトン・アーツ・ネットワーク理事及び職員

（2010 年 4 月始現在）

理事長　　加茂文治
理　事　　藤田正厚
理　事　　三木隆二郎
理　事　　倉林京子
理　事　　播戸正臣
理　事　　山﨑隆司
理　事　　中村卓史
監　事　　永山妙子

事務局長　　植田寛
事務局次長　　大平和代
ディレクター　　田中玲子
制作担当　　菊地麻維
制作担当　　櫻井あゆみ
制作担当　　黒澤洋子
広報お客さま担当　　佐藤公彦
チケットお客さま担当　宮崎友紀子

２．2009 年度評価委員

委員長　武濤京子　昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科　准教授
委員　　片山正夫　財団法人セゾン文化財団　常務理事
委員　　喜多爽　　社団法人企業メセナ協議会　プログラム・オフィサー
委員　　河野聰　　中央区文化・国際交流振興協会　事務局長
委員　　善積俊夫　社団法人日本クラシック音楽事業協会　常務理事

（五十音順）

Ⅻ. 特定非営利活動法人　トリトン・アーツ・ネットワーク 定款

第１章　総則

（名称）
第１条　この法人は、特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワークという。

（事務所）
第２条　この法人は、事務所を東京都中央区晴海１丁目８番１０号に置く。

（目的）
第３条　この法人は、東京都中央区の晴海、月島、佃、勝どき地区を主とした地域の人々に対して、音楽を中心とした芸術活動ならびに地域活動を行うことにより、わが国の文化、芸術の発展に寄与することを目的とする。

（特定非営利活動の種類）
第４条　この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の活動を行なう。
（１）社会教育の推進を図る活動
（２）まちづくりの推進を図る活動
（３）学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
（４）子どもの健全育成を図る活動

（事業）
第５条　この法人は、第３条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。
（１）自主企画公演事業
（２）コンサート出前事業
（３）アウトリーチプログラム事業
（４）若手演奏家支援事業
（５）前各号の事業を行うために必要な外国人の招へい
（６）文化ボランティア拠点づくり事業
（７）評価事業
（８）その他目的を達成するための事業

第２章　会員

（種別）
第６条　この法人の会員は、次の２種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下、「法」という。）上の社員とする。

（１）正会員　　この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
（２）特別会員　この法人の事業を賛助するために入会した団体

（入会）
第７条　正会員又は特別会員の入会について、特に条件は定めない。
２　正会員又は特別会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。
３　理事長は、前項の申込があったときは、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
４　理事長は、第２項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知になければならない。

（会費）
第８条　会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

（退会）
第９条　会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。
２　会員が次の各号の一に該当するときは、退会したものとみなす。
（１）本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
（２）継続して会費を２年以上滞納したとき。

（除名）
第１０条　会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。
（１）この定款等に違反したとき。
（２）この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
（３）前各号に準じる行為があったとき。

（拠出金品の不返還）
第１１条　既納の会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

第３章　役員

（種別）
第１２条　この法人に次の役員を置く。
（１）理事　３人以上１０人以内
（２）監事　２人以内

２　理事のうち、１人を理事長とする。

（選任等）
第１３条　理事及び監事は、総会において選任する。
２　理事長は、理事会において理事が互選する。
３　監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。
４　役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が１人を超えて含まれ、又は当該役員ならびにその配偶者及び三親等以内の親族が役員の総数の３分の１を超えて含まれることになってはならない。

（職務）
第１４条　理事長は、この法人を代表し、その業務を統括する。
２　理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。また、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事の中から理事長があらかじめ指定した者がその職務を代行する。
３　監事は、次に掲げる職務を行う。

（１）理事の業務執行の状況を監査すること。
（２）この法人の財産の状況を監査すること。
（３）前２号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
（４）前号の報告をするため必要がある場合には、総会を招集すること。
（５）理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

（任期等）
第１５条　役員の任期は、２年とする。ただし、再任を妨げない。
２　補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
３　役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

（欠員補充）
第１６条　理事又は監事のうち、その定数の３分の１を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

（解任）
第１７条　役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。ただし、総会において、その役員に対し、議決前に弁明の機会を与

えなければならない。
（１）心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
（２）職務上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

（報酬等）
第１８条　役員は、その総数の３分の１以下の範囲内で報酬を受けることができる。
２　役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
３　前２項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

第４章　総会

（種別）
第１９条　この法人の総会は、通常総会と臨時総会とする。

（構成）
第２０条　総会は、正会員をもって構成する。

（権能）
第２１条　総会は、次の事項を議決する。
（１）定款の変更
（２）解散及び合併
（３）事業報告及び収支決算
（４）役員の選任又は解任、報酬及び職務に関する事項
（５）会費の額
（６）長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
（７）その他運営に関する重要事項

（開催）
第２２条　通常総会は、毎年１回開催する。
２　臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
（１）理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
（２）正会員総数の５分の１以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
（３）第１４条第３項第４号の規定により、監事から招集があったとき。

（招集）
第２３条　総会は、理事長が招集する。ただし、前条第２項第３号の規定による場合は、監事が招集する。
２　理事長は、前条第２項第２号の規定による請求があった場合は、その日から３０日以内に臨時総会を開かなければならない。

３　総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも５日前までに通知しなければならない。

（議長）
第２４条　総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

（定足数）
第２５条　総会は、正会員の２分の１以上の出席がなければ開会することができない。

（議決）
第２６条　総会における議決事項は、第２３条第３項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。
２　総会の議事は、この定款で定めるもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（表決権）
第２７条　各正会員の表決権は平等なものとする。
２　総会に出席しない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
３　前項の規定により表決した正会員は、前２条の適用については、出席したものとみなす。
４　総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その決議に加わることができない。

（議事録）
第２８条　総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
（１）日時及び場所
（２）正会員の現在数
（３）出席した正会員の数（書面若しくは電磁的方法による表決者、又は表決委任者については、その旨を明記すること）
（４）審議事項及び議決事項
（５）議事の経過の概要及び議決の結果
（６）議事録署名人の選任に関する事項

２　議事録には、議長及び出席した正会員のうちからその会議において選任された議事録署名人２人以上が署名、押印しなければならない。

第５章　理事会

（構成）

第２９条　理事会は、理事をもって構成する。
２　監事は、理事会に出席し、意見を述べることができる。

（権能）
第３０条　理事会は、この定款に定めるものの他、次の事項を議決する。
（１）総会に付すべき事項
（２）総会の議決した事項の執行に関する事項
（３）その他、総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

（開催）
第３１条　理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
（１）理事長が必要と認めたとき。
（２）理事総数の３分の１以上から、会議の目的である事項を記載した書面によって招集の請求があったとき。

（招集）
第３２条　理事会は理事長が招集する。
２　理事長は、前条２号の規定による請求があったときは、その日から３０日以内に理事会を招集しなければならない。
３　理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも５日前までに通知しなければならない。

（議長）
第３３条　理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

（議決）
第３４条　理事会における議決事項は、第３２条第３項の規定によって、あらかじめ通知した事項とする。
２　理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（表決権）
第３５条　各理事の表決権は平等なものとする。
２　やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決することができる。
３　前項の規定により表決した理事は、前条の適用については、出席したものとみなす。
４　理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事員は、その決議に加わることができない。

（議事録）

第３６条　理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
（１）日時及び場所
（２）理事の現在数
（３）出席した理事の数（書面又は電磁的方法による表決者については、その旨を明記すること）
（４）審議事項及び議決事項
（５）議事の経過の概要及び議決の結果
（６）議事録署名人の選任に関する事項
２　議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人１人以上が署名、押印しなければならない。

第６章　資産、会計及び事業計画

（構成）
第３７条　この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。
（１）財産目録に記載された財産
（２）会費
（３）寄付金品
（４）財産から生じる収入
（５）事業に伴う収入
（６）その他の収入

（資産の区分）
第３８条　この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産とする。

（資産の管理）

第３９条　この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

（経費の支弁）
第４０条　この法人の経費は、資産をもって支弁する。

（会計の原則）
第４１条　この法人の会計は、法第２７条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

（会計の区分）
第４２条　この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計とする。

（事業計画及び収支予算）
第４３条　この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、理事会の承認を得なければならない。これを変更する場合も同様とする。

（予備費の設定及び使用）
第４４条　前条に規定する予算には、予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算に予備費を設けることができる。
２　予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

（暫定予算）
第４５条　第４３条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。
２　前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

（事業報告書及び決算）
第４６条　理事長は、毎事業年度終了後３ヶ月以内に、事業報告書、財産目録、貸借対照表、収支決算書を作成し、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

（長期借入金）
第４７条　この法人が資金の借入をしようとするときは、その事業年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、総会の議決を経なければならない。

（事業年度）
第４８条　この法人の事業年度は、毎年４月１日に始まり翌年３月３１日に終わる。

第７章　事務局

（設置）
第４９条　この法人の事務を処理するため、事務局を置く。
２　事務局には、事務局長その他の職員を置く。
３　事務局の職員は、理事長が任免する。

（書類及び帳簿の備置）
第５０条　事務所には、特定非営利活動促進法第２８条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかなければならない。
（１）会員名簿及び会員の異動に関する書類
（２）収入、支出に関する帳簿及び証拠書類

第８章　定款の変更、解散及び合併

（定款の変更）

第５１条　この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の過半数の議決を経なければならない。ただし、可否同数のときは議長の決するところによる。また、変更内容については法第２５条第３項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

（解散）

第５２条　この法人は、次に掲げる事由により解散する。

（１）総会の決議

（２）目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能

（３）正会員の欠亡

（４）合併

（５）破産手続開始の決定

（６）所轄庁による設立の認証の取消し

２　前項第１号の事由によりこの法人が解散するときは、総会において出席した正会員の３分の２以上の議決を経なければならない。

３　第１項第２号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

（残余財産の帰属）

第５３条　この法人が合併又は破産手続開始の決定以外の事由により解散したときに残存する財産は、総会において出席した正会員の過半数の議決を経て選定された、特定非営利活動法人、公益社団法人、公益財団法人、国又は地方公共団体に譲渡する。

第９章　雑則

（公告の方法）

第５４条　この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

（委任）

第５５条　この定款の施行について必要な事項は、総会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附則

１．この定款は、この法人の成立の日から施行する。

２．この法人の設立当初の役員は、次に掲げるとおりとする。
（１）理事長　　加　茂　文　治
（２）理　事　　藤　田　正　厚
　　成　田　元　男
（３）監　事　　永　山　妙　子
３．この法人の設立当初の役員の任期は、第１５条第１項の規定にかかわらず平成１４年の最初の総会の日までとする。
４．この法人の設立当初の事業年度は、第４８条の規定にかかわらず、成立の日から平成１４年３月３１日までとする。
５．この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第４３条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。
６．この法人の設立時の会費は、第８条の規定にかかわらず次に掲げる額とする。
（１）正会員　　年会費　1口　　１０，０００円
（２）賛助会員　　年会費　1口　　５，０００円
（３）特別会員　　年会費　1口　　１００，０００円

附則
この定款は、平成１３年１２月１７日から施行する。

附則
この定款は、平成２１年１０月２３日から施行する。

特定非営利活動法人　トリトン・アーツ・ネットワーク　2009年度事業報告書
発行　2010年7月
特定非営利活動法人　トリトン・アーツ・ネットワーク
〒104-6005
東京都中央区晴海1-8-10　晴海アイランドトリトンスクエア　X棟5階
TEL 03-3532-5701　FAX 03-3532-5703
http://www.triton-arts.net